#### 【一般土木・舗装】

○評価項目 令和6年9月6日以降滴用 施工能力評価型 I型① I型② Ⅱ型 2.5億円以上(舗装:0.8億円以上) 評価項目 評価基準 (A·B等級) 2.5億円未満(B·C·D等級) (舗装:0.8億円未満(B等級)) 工事区分等級 工事区分等級 工事区分等級 工事区分等級 AB工事 A工事 A工事 AB工事 評価 評価 評価 評価 評価 配点 配点 配点 評価 配点 配点 配点 より同種性の高い工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場 7.0 3.0 3.0 3.0 7.0 7.0 代理人として従事 より同種性の高い工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又 同種工事の施工実績 は同種性が認められる工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者又は 7.0 3.0 3.0 3.0 7.0 7.0 3.5 1 ! 1.5 1.5 3.5 3 ! (過去15年間の同種工事実績の同種性・立場) 現場代理人として従事 同種性が認められる工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 83点以上 3.0 3.0 8.0 3.0 8.0 8.0 82点以上83点未満 7.3 2.8 2.8 2.8 7.3 7.3 81点以上82点未満 6.6 2.6 2.6 2.6 6.6 6.6 80点以上81点未満 5.9 2.4 2.4 5.9 5.9 2.4 工事成績 79点以上80点未満 5.2 2.2 2.2 2.2 5.2 5.2 2.0 (過去10年間の開発局発注工事の監理(主任) 78点以上79点未満 2.0 4.5 2.0 4.5 4.5 技術者、特例監理技術者又は現場代理人とし 77点以上78点未満 3.8 8.0 1.8 1.8 3.0 3.0 3.8 8.0 3.8 8.0 3.0 1.8 76点以上77点未満 ての任意の一工事、同一工事区分) 3.1 1.6 1.6 1 6 3.1 3.1 **※1. ※2** 75点以上76点未満 2.4 1.4 1.4 2.4 2.4 1.4 74点以上75点未満 1.2 1.2 1.2 1.7 73点以上74点未満 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 72点以上73点未満 0.3 0.8 0.8 0.8 0.3 0.3 72点未満. 又は実績なし 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 局長表彰あり(同一事業部門限定) 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 (過去4年間。但し、舗装工事のみ工事区分「舗 (過去4年間。但し、舗装工事のみ工事区分「舗 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 網走開発建設部長表彰あり(同一事業部門限定) 1.5 重複なし 1.5 重複なし 1.5 重複なし 1.5 重複なし 1.5 重複なし 1.5 重複なし 装」での表彰を評価。) 海外インフラブロジェクト優秀技術者 国土交通大臣奨励賞 **X**3 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1 5 CPDへの取組 指定団体の一定数以上の認定有り 1.0 1.0 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 1.0 1.0 1.0 10.0 10.0 10.0 6.7 6.7 6.7 施工監理能力の確認(書面) 過去の同種工事の実績・経験を踏まえた、当該工事での留意事項等 10.0 10.0 10.0 3.3 3.3 3.3 0.0 0.0 可 0.0 小 計(技術者配点) 19.0 19.5 19.5 19.0 19.0 195 同種工事の施工実績 より同種性の高い工事実績あり 4.0 4.0 5.0 5.0 5.0 4.0 4.0 5.0 5.0 5.0 5.0 同種性が認められる工事実績あり (過去15年間) 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 83点以上 5.0 5.0 6.0 6.0 6.0 6.0 82点以上83点未満 4.6 5.5 4.6 5.5 5.5 5.5 81点以上82点未満 5.0 5.0 4.2 4.2 5.0 5.0 80点以上81点未満 3.8 3.8 4.5 4.5 4.5 4.5 79点以上80点未満 3.4 3.4 4.0 4.0 4.0 4.0 工事成績 (過去2年間の開発局発注工事の成績平均点。 78点以上79点未満 3.0 3.0 3.5 3.5 3.5 3.5 但し、舗装工事のみ工事区分「舗装」の工事成 77点以上78点未満 5.0 2.6 2.6 5.0 3.0 6.0 3.0 6.0 3.0 6.0 3.0 6.0 績平均点を評価。) 76点以上77点未満 2.2 2.2 2.5 2.5 2.5 2.5 **%**1, **%**2 75点以上76点未満 2.0 2.0 1.8 2.0 2.0 企 74点以上75点未満 1.4 1.4 1.5 1.5 1.5 1.5 業 73点以上74点未満 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 72点以上73点未満 0.6 0.6 0.5 0.5 0.5 0.5 72点未満, 又は実績なし 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 局長表彰または国土交通省インフラDX大賞:大臣賞あり(同一事業部門限定) 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 表彰等 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 [過去2年間の局長等優良工事表彰、過去1年 網走開発建設部長表彰または国土交通省インフラDX大賞:優秀賞あり(同一事業 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 間の北海道開発局i-Con奨励賞、受賞決定日 部門限定) 重複なし 重複なし 重複なし 重複なし 重複なし 重複なし の翌月1日から2年間の国土交通省インフラDX (×4) (×4) (×4) (×4)  $(\times 4)$ (×4) 大賞及び当該年度の工事成績優秀企業。ただ 北海道開発局i-Con奨励賞あり(同一事業部門限定) 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 し、舗装工事のみ工事区分「舗装」での表彰を 評価。] 工事成績優秀企業 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 ①当該工事の関連分野での技術開発実績(NETIS登録)あり 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 ②有用な新技術の当該工事への活用あり 1.0 0.5 1.0 1.0 1.0 0.5 0.5 1.0 NETIS登録技術の活用 ※5 0.5 1.0 0.5 上記①と②が同技術である 【新技術活用の義務化対象工事では使用しない。】 1 ( 1 ( 重複なし 重複なし 重複なし 重複なし 重複なし 重複なし 0.0 0.0

#### 【一般土木•舗装】

〇評価項目 令和6年9月6日以降適用 施工能力評価型 Ⅱ型 I型(1) I型② 2.5億円以上(舗装:0.8億円以上) 評価項目 評価基準 2.5億円未満(B·C·D等級) (A·B等級) 工事区分等級 (舗装:0.8億円未満(B等級)) 工事区分等級 工事区分等級 工事区分等級 A工事 AB工事 A工事 AB工事 評価 評価 評価 評価 配点 評価 評価 配点 配点 配点 配点 配点 オホーツク総合振興局管内本店 1.0 1.0 2.0 2.0 1.0 1.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 道内本店かつオホーツク総合振興局管内支店・営業所 本支店・営業所の所在地 (管内本店が 1.0 (管内本店が 1.0 0.5 0.5 1 0 2.0 0.5 0.5 1.0 | 1.0 2.0 1.0 1.0 域 **※**6 道内本店 0.0 条件の時は 0.0 条件の時は 0.0 0.3 0.0 0.5 0.0 0.5 0.0 0.3 結 道内支店・営業所 配点なし) 配点なし) - 0.0 - 0.0 - 0.0 - 0.0 通 5件以上あり 2.0 1.0 2.0 1.0 2.0 近隣地域での施工実績 2.0 度 2.0 2.0 2.0 2.0 1.0 1.0 (過去10年間のオホーツク総合振興局管内事績) 4件以下又はなし 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 a 災害時における活動実績あり b 防災訓練の実績 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 災害活動の実態(活動実績), 防災訓練 0.5 0.5 0.5 0.5 9.5 最大1点まで 最大1点まで 最大1点まで 最大1点まで 最大1点まで 最大1点まで の実績、災害活動拠点及び通年保有資機 c 管内に災害活動拠点とした社屋を除く倉庫等保有 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 域 ただし、b, c,dのみ こだし、b, c,dのみ ただし、b, c,dのみ ただし、b, c,dのみ ただし、b, c,dのみ ただし、b, c,dのみ d 管内に通年保有資機材の保有 材の実績 0.5 重複あり 0.5 重複あり 0.5 <sub>重複あり</sub> 0.5 重複あり 0.5 重複あり 0.5 重複あり 貢 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 献 a 国の機関との締結あり 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 度 b 地方自治体との締結あり 災害活動の実態(協定の締結) 0.5 0.5 0.5 3.0 0.5 0.5 重複なし 重複なし 重複なし 重複なし 重複なし 重複なし 0.0 0.0 0.0 **n** n nι Λ Λ 管内本店 16.5 管内本店 16.5 小 計(企業配点) 18.5 20.5 18.5 20.5 上記以外 18.5 上記以外 18.5 適切に記載されている 技術提案 施工計画 不適切な記載である、又は未記載 十分な監理能力が確認できる 不可 失格 ×1.0 技術者同種実 ×1.0 技術者同種実 一定の監理能力が期待できる ×0.5 績評価点に係 技術者の施工監理能力 ×0.5 績評価点に係 ア IJ 上記以外 ×0.0 数を乗じる ×0.0 数を乗じる 施工計画の説明が適切である 回 技術者の施工計画の理解度 施工計画の説明が不適切である 不可 失格 不可 失格 管内本店 35.5 管内本店 36.0 配点合計 38.0 40.0 37.5 39.5 上記以外 37.5 上記以外 38.0 ○舗装工事 選択項目(標準項目に原則的に追加して評価) 舗装施工管理技術者 1.0以上 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 「一般社団法人日本道路建設業協会認定 1級×1+2級×0.5の値を評価 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 資格) 1.0未満 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.7以上 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 (元請の配置予定技能者数+子会社の配置予定技能者数)/全配置 技能者の元請比率 1.0 1.0 企業 10 10 10 1.0 予定技能者数 0.7未満 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 (元請が保有している配置予定主要機械数+子会社が保有している 0.5以上 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 主要機械の元請比率 配置予定主要機械数+元請が長期リースしている配置予定主要機械 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 注1) 数)/全配置予定主要機械数 0.5未満 0.0 0.0 0.0 0.0 注1) ICT活用工事の場合は評価対象外 ○漁港工事 選択項目(標準項目に原則的に追加して評価) 漁港漁場関係事業優良請負者表彰(過去 農林水産大臣又は水産庁長官表彰あり 企業 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 技術士(水産土木)を有している 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 技術者 施工環境監理者の資格 水産工学技士を有している 上記以外 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.0 0.0 0.0 0.0 〇作業船を使用する港湾・漁港工事(必須項目) 保有比率50%以上または保険支払比率50%以上 2.0 保有比率20%以上50%未満または保険支払比率20%以上50%未満 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 企業 作業船の保有 保有比率20%未満または保険支払比率20%未満 0.5 2.0 0.5 2.0 0.5 2.0 0.5 2.0 0.5 2.0 0.5 2.0 上記以外 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0

○評価					_				力評価型				和6年9月6	
				Ⅱ型			I	型 ①					型②	
	評価項目	評価基準		2.5億円未満	(B•C•D等	級)			2.5億		i装:0.8億円」 3等級)	以上)		
	u i iim · X Ei	III IM SEC -T		舗装:0.8億円				区分等級 工事		- (	工事区	分等級 C事		分等級 工事
			評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
)環境	<u>性能の高い作業船を使用する港湾</u>	<u>『・漁港工事(必須項目)</u> 【保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成し			1		1		T 1		1 1		1	
		た新造船であり、出資比率50%以上 保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成し	3.0 (1.5)		3.0 (1.5)		3.0 (1.5)		3.0 (1.5)		3.0 (1.5)		3.0 (1.5)	
		た新造船であり、出資比率20%以上50%未満	1.5 (0.7)		1.5 (0.7)		1.5 (0.7)		1.5 (0.7)		1.5 (0.7)		1.5 (0.7)	
	環境性能の高い作業船(作業船に設置さ	保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した新造船であり、出資比率20%未満	0.5 (0.2)	-	0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)	
企業	れている原動機)又は、環境性能の高い作業船又は新造船の評価	保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した船であり、出資比率50%以上	2.0 (1.0)	3.0	2.0 (1.0)	3.0	2.0 (1.0)	3.0	2.0 (1.0)	3.0	2.0 (1.0)	3.0	2.0 (1.0)	3.0
	作未加入は新垣加の計画	保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した船であり、出資比率20%以上50%未満	1.0 (0.5)		1.0 (0.5)		1.0 (0.5)		1.0 (0.5)		1.0 (0.5)		1.0 (0.5)	
		保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した船であり、出資比率20%未満	0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)	
		上記以外	0.0 (0.0)		0.0 (0.0)		0.0 (0.0)		0.0 (0.0)		0.0 (0.0)		0.0 (0.0)	
平成2	■ 2年改正前の窒素酸化物放出量基準を満足	I している作業船について評価する場合は、満点から1/2を乗じて加点する。【表中の	( )数値】		1 1						<u> </u>			
環境性	生能の高い作業船(作業船に設置されている	原動機)の評価又は環境性能の高い作業船(新造船)の評価の、どちらか高い配点	の基準を採用	用し、重複した	評価はしない	0								
新技	術導入促進(I型)【NETIS登録	支術の活用と重複評価なし。新技術活用の原則義務化対象外のエ	事かつ施	工能力評価		適用】							<u>,                                      </u>	
企業	NETIS登録技術又はNETIS掲載期間を終	提案された新技術(NETIS登録)の活用が有効かつ具体的である 提案された新技術(NETIS未登録)の活用が有効かつ具体的である			2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0 1.0	2.0	2.0 1.0	2.0
	了しているが有効性が認められる技術	提案された新技術の活用が有効かつ、具体的でない			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
ICT	活用工事(選択項目)													
企業	ICTの活用	活用あり  活用なし	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0 0.0	2.0	2.0	2.0
		namo e	0.0		0.01		0.01		0.0		0.0		0.0	
) <u>現</u> 重 地域	[に係る道路工事(選択項目)   維持エ事の施工実績	一般土木工事:年間維持除雪工事の施工実績5年以上あり			1 1		1 1		Т		Т Т		1 1	
通度	(当該工事区間を含む維持実績)	舗装工事:舗装維持工事の施工実績5年以上あり	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	「係る工事の場合に、必要に応じ設定する。													
)登録	<u> 基幹技能者等の活用(選択項目)</u>	登録基幹技能者を配置	1.0		I 10I		1 10		1.0		1.0		1.0	
	登録基幹技能者、建設マスター、技能者	京学学社が作品でには 建設マスターを配置	1.0	1.0	1.0 1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0 1.0	1.0	1.0 1.0	1.0
企業	を対象工事に配置した場合(元請け又は	技能士を配置	0.5	重複なし	0.5	重複なし	0.5	重複なし	0.5	重複なし	0.5	重複なし	0.5	重複なし
	一次下請け)	配置なし	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
ソワー	·クライフバランス等推進企業に対す	- る評価												
企業		次に掲げるいずれかの認定を受けている		/	1	/	1 1			/	1 1			
		①女性活躍推進法に基づく認定等(プラチナえるぼし・えるぼし認定企業等)												
企 の 業 能	ワーク・ライフ・バランス等推進企業等 ※7	②次世代法に基づく認定(プラチナくるみん・くるみん(令和4年4月1日以降の基準)・くるみん(平成29年4月1日~令和4年3月31日までの基準)・くるみん(平成					0.5	0.5	/		0.5	0.5		
力		29年3月31日までの基準)・トライくるみん認定企業												
等		③若者雇用促進法に基づく認定(ユースエール認定企業)	$\vee$		V				$\vee$					
賃上	げを実施する企業に対する加点措													
∗الد ۸	契約を行う予定の年の4月以降に開始する入札者の最	【大企業の場合】対前年度または前年比で給与等受給者一人当たりの平均受給額を3%以上増加	賃上げ配点 (技術者の	、計算式 小計+企業の	小計)×5%(	(小数点以下	切上げて整数	(にする)・・・(1	<u> </u>					
企業	初の事業年度または契約を行う予定の層中において、	【中小企業の場合】対前年度または前年比で給与総額を1.5%以上増加	①÷(技術	者の小計+企	業の小計+行	(1))≥5% (1)	が配点							
	<u> </u>	The state of the s	⊕〒(技術	者の小計+企	未の小計士(	IJ/ <b>\3</b> % (∐)	1~1 点加点し	に点数が配点						
賃上	:げ基準に達していない企業への減 T	点措置 T	1											
<u>, ж</u>	賃上げの実施を従業員に表明したが、賃上げ	  賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置	該当企業は	は、財務省から	通知された日	から1年間.	賃上げ加算点	まりも1点大	きな配点で減り	点する				
企業	基準に達していない企業への減点	※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点		き準に達してい						. <del>-</del>				

#### 【一般土木·舗装】

<u>.〇評価項目</u>											<b>令</b> 和	16年9月6	日以降適用
							施工能力	力評価型					
		Ⅱ型	!			I	型 ①				ΙΞ	₫ ②	
評価項目	評価基準	2.5億	第四未満(1	B・C・D等約	級)			2.5	億円以上(舗 (A•B		以上)		
				未満(B等組			☑分等級 工事		区分等級 B工事	工事	☑分等級 工事		公等級 工事
		評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点

- ※1 「一般土木」工事では、工事区分「維持」の維持工事(年間維持除雪等)の成績も評価対象とする。(道路部門限定)
- ※2 「舗装」工事では、工事区分「維持」の舗装補修工事又は舗装維持工事の成績も評価対象とする。(道路部門限定)
- ※3 海外インフラプロジェクト優秀技術者認定・表彰制度に係る評価は「河川・道路・港湾(漁港を除く)」部門のみ対象とする。
- ※4 国土交通省インフラDX大賞は「河川・道路・港湾(漁港を除く)・営繕」部門のみ対象とする。また、優良工事表彰、国土交通省インフラDX大賞及び北海道開発局i-Con奨励賞の重複加点は行わず、評価値の高い方で評価を行う。
- ※5「新技術導入促進(I型)」を適用する場合は、従来のNETIS評価は行わない。(重複評価はしない)
- ※6 地域精通度の配点について、左欄は道内本店、右欄は道内本支店営業所の場合に対応している。
- ※7 一般土木及び建築のうち、A等級の工事発注を対象とする。

○評価項目

令和6年9月6日以降適用 施工能力評価型 若手技術者育成型 I 型 ① 若手技術者育成型 Ⅱ型・Ⅰ型② 若手技術者育成型 若手技術者育成型

			<b>若手技術者育成型</b>	者手技術 <b>者</b> 育成型	者手技術 <b>省</b> 育成型	者手技術 <b>者</b> 育成型
	評価項目	評価基準	I 型 ①	Ⅱ型・Ⅰ型②	I 型 ① 同等評価型	Ⅱ型・Ⅰ型② 同等評価型
			評価 配点	評価 配点	評価 配点	評価 配点
	同種工事の施工実績 (過去15年間の同種工事実績の同種性・立 場)	より同種性の高い工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者、現場代理人又は監理技術者補佐若しくは担当技術者として従事同種性が認められる工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者、現場代理人又は監理技術者補佐若しくは担当技術者として従事該当なし			3.0 1.5 3.0	7.0 3.5 7.0
技術者	工事成績 (過去10年間の開発局発注工事の監理(主 任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人 としての任意の一工事,同一工事区分)※1	83点以上 82点以上83点未満 81点以上82点未満 80点以上81点未満 79点以上80点未満 77点以上79点未満 77点以上77点未満 75点以上76点未満 75点以上76点未満 75点以上75点未満 73点以上75点未満 73点以上75点未満 73点以上73点未満 72点以上73点未満				
	北海道開発局長優良工事表彰等 (過去4年間。但し、舗装工事のみ工事区分 「舗装」での表彰を評価。)	局長表彰あり(同一事業部門限定) 海外インフラブロジェクト優秀技術者 国土交通大臣賞 ※2 網走開発建設部長表彰あり(同一事業部門限定) 海外インフラブロジェクト優秀技術者 国土交通大臣奨励賞 ※2				
	主任(監理)技術者の資格 (オプション項目)	技術士又は1級土木施工管理技士経験年数10年以上 1級土米施工管理技士経験年数5年以上10年末満 技術士又は1級土木施工管理技士経験年数5年以上 上記以外	(0.5) (0.0)	(0.5) (0.0)	(0.5) (0.0)	(0.5) (0.0)
	CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定有り なし	0.5 0.0	1.0 0.0	0.5 0.5 0.0	1.0 0.0
	施工監理能力の確認(書面)	当該工事での留意事項等 優 良 の の の の の の の の の の の の の	10.0 6.7 3.3 0.0		10.0 6.7 3.3 0.0	
		小、訂(技術有配品)	10.5	1.0	13.5	8.0
企	同種工事の施工実績 (過去15年間) ※() まきは 予定価格が2.5億円未満の工事に適用	より同種性の高い工事実績あり 	(4.0) 5.0 5.0 %(4.0)	(4.0) 5.0 5.0 *(4.0)	(4.0) 5.0 5.0 *(4.0)	(4.0) 5.0 5.0 %(4.0)
企 業		同種性が認められる工事実績あり  83点以上  82点以上83点未満  81点以上82点未満  80点以上81点未満  79点以上80点未満  77点以上79点未満  77点以上78点未満  75点以上77点未満  75点以上76点未満  75点以上75点未満  73点以上75点未満  73点以上74点未満  72点以上73点未満	0.0  (5.0) 6.0  (4.6) 5.5  (4.2) 5.0  (3.8) 4.5  (3.4) 4.0  (3.0) 3.5  (2.6) 3.0  (2.2) 2.5  (1.8) 2.0  (1.4) 1.5  (1.0) 1.0  (0.6) 0.5	0.0  (5.0) 6.0  (4.6) 5.5  (4.2) 5.0  (3.8) 4.5  (3.4) 4.0  (3.0) 3.5  (2.6) 3.0  (2.2) 2.5  (1.8) 2.0  (1.4) 1.5  (1.0) 1.0  (0.6) 0.5	0.0 (5.0) 6.0 (4.6) 5.5 (4.2) 5.0 (3.8) 4.5 (3.4) 4.0 (3.0) 3.5 (2.6) 3.0 (2.2) 2.5 (1.8) 2.0 (1.4) 1.5 (1.0) 1.0 (0.6) 0.5	0.0  (5.0) 6.0  (4.6) 5.5  (4.2) 5.0  (3.8) 4.5  (3.4) 4.0  (3.0) 3.5  (2.6) 3.0  (2.2) 2.5  (1.8) 2.0  (1.4) 1.5  (1.0) 1.0  (0.6) 0.5  0.0

						施工能	力評価型			
			若手技術者	<b>š</b> 育成型	若手技術者		若手技術者	育成型	若手技術	<b>者</b> 育成型
	評価項目	評価基準	I 型		II型·I		I型 同等評	1	Ⅱ型・Ⅰ型② 同等評価型	
			評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
表章	影等 <sub></sub>	局長表彰または国土交通省インフラDX大賞:大臣賞あり(同一事業部門限定)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
L過 間の	法2年間の局長等優良工事表彰、過去1年 の北海道開発局:−Con奨励賞、受賞決定日 翌月1日から2年間の国土交通省インフラ	網走開発建設部長表彰または国土交通省インフラDX大賞:優秀賞あり (同一事業部門限定)	1.0	重複なし	1.0	重複なし	1.0	重複なし	1.0	重複な
DX:	また。 大賞及び当該年度の工事成績優秀企業。 どし、舗装工事のみ工事区分「舗装」での表	北海道開発局i-Con奨励賞あり(同一事業部門限定)	0.5	<b>※</b> 3	0.5	<b>※</b> 3	0.5	<b>※</b> 3	0.5	<b>%</b> 3
彰る	を評価。]	工事成績優秀企業	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	ETIS登録技術の活用 ※4 技術活用の義務化対象工事では使用しない。】	①当該工事の関連分野での技術開発実績(NETIS登録)あり ②有用な新技術の当該工事への活用あり 上記①と②が同技術である	0.5 0.5 1.0	1.0	0.5 0.5 1.0	1.0	0.5 0.5 1.0	1.0	0.5 0.5 1.0	1.0
	1	なし	0.0		0.0	重複なし	0.0		0.0	
	  本支店・営業所の所在地	オホーツク総合振興局管内本店	(2.0)1.0		(2.0)1.0	1.0	(2.0)1.0	1.0	(2.0)1.0	1.0
地	※()書きは、予定価格が2.5億円未満又は2.5億円以	道内本店かつオホーツク総合振興局管内支店・営業所	(1.0)0.5		(1.0)0.5	<b>※</b> (2.0)	(1.0)0.5	<b>※</b> (2.0)	(1.0)0.5	<b>※</b> (2.0
域精	上(AB(い上かり)の工事に週用。	道内本店 道内支店·営業所	0.0 —	(管内本店が条件 の時は配点なし)	0.0 —	(管内本店が条件 の時は配点なし)	0.0 —	(管内本店が条件 の時は配点なし)	0.0 —	(管内本店がの時は配点な
通度	近隣地域での施工実績 (過去10年間のオホーツク総合振興局管内実績)	5件以上あり	(2.0)1.0	1.0	(2.0)1.0	1.0	(2.0)1.0	1.0	(2.0)1.0	1.0
	※()書きは、予定価格が2.5億円未満又は2.5億円以上(AB<い上がり)の工事に適用。	4件以下又はなし	0.0	<b>※</b> (2.0)	0.0	※(2.0)	0.0	※(2.0)	0.0	<b>※</b> (2.
地	災害活動の実態(活動実績)、防災訓練	a 災害時における活動実績あり b 防災訓練の実績	1.0 0.5	- - 早十1占士で	1.0 0.5	1.0 最大1点まで	1.0 0.5	1.0 最大1点まで	1.0 0.5	1.0 最大1点
域 貢	の美積、災害活動拠点及の通年保有質  機材の実績 	c 管内に災害活動拠点とした社屋を除く倉庫等保有 d 管内に通年保有資機材の保有 なし	0.5 0.5 0.0	ただし、b,c,dの み重複あり	0.5 0.5 0.0	成人・点なり ただし、b,c,dの み重複あり	0.5 0.5 0.0	ただし、b,c,dの み重複あり	0.5 0.5 0.0	ただし、b,o
献		a 国の機関との締結あり	1.0		1.0	1.0	1.0		1.0	1.0
度	災害活動の実態(協定の締結)	b 地方自治体との締結あり なし	0.5 0.0	重複か	0.5 0.0		0.5 0.0	重複なし	0.5 0.0	重複な
		小 計(企業配点)	管内本店 上段∶A工事 下段∶上段以外	17.5 18.5 (16.5)	管内本店 上段:A工事 下段:上段以外	17.5 18.5 (16.5)	管内本店 上段∶A工事 下段∶上段以外	17.5 18.5 (16.5)	管内本店 上段:A工事 下段:上段以外	17.5 18.5 (16
		小、司(正来能点)	上記以外 上段:A工事 下段:上段以外	18.5 20.5 (18.5)	上記以外 上段:A工事 下段:上段以外	18.5 20.5 (18.5)	上記以外 上段:A工事 下段:上段以外	18.5 20.5 (18.5)	上記以外 上段:A工事 下段:上段以外	18.5 20.5 (18
<b></b>	施工計画	適切に記載されている								
<u>等</u> ヒ ア	技術者の施工監理能力	不適切な記載である、又は未記載 十分な監理能力が確認できる 一定の監理能力が期待できる 上記以外								
リ ン グ	技術者の施工計画の理解度	上記以外  施工計画の説明が適切である  施工計画の説明が不適切である								
	•		管内本店 上段:A工事 下段:上段以外	28.0 29.0(27.0)	管内本店 上段:A工事 下段:上段以外	18.5 19.5(17.5)	管内本店 上段:A工事 下段:上段以外	31.0 33.0(31.0)	管内本店 上段:A工事 下段:上段以外	25.5 26.5(24
		配 点 合 計	上記以外 上段:A工事 下段:上段以外	29.0 31.0(29.0)	上記以外 上段:A工事 下段:上段以外	19.5 21.5(19.5)	上記以外 上段:A工事 下段:上段以外	33.0 35.0(33.0)	上記以外 上段:A工事 下段:上段以外	26.5 28.5(26

13 140 1 /2	14C- 11 11 11 11 11 11 11	10/5 -00/	H 1 1 1 1 1 1 1 1	
<b>○</b> ==/===□				

令和6年9月6日以降適用

							施工能	力評価型			
				若手技術者	育成型	若手技術者	育成型	若手技術者		若手技術者	
	評価項目	評価基準		I 型(		Ⅱ型・Ⅰ:		I 型 ( 同等評(	型	Ⅱ型・Ⅰ3 同等評価	西型
				評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
〇舗装.		川的に追加して評価)									
	舗装施工管理技術者 (一般社団法人日本道路建設業協会認 定資格)	1級×1+2級×0.5の値を評価	1.0以上 1.0未満	1.0 0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
<b>۸ علاد</b>	注意性	   (元請の配置予定技能者数+子会社の配置予定技能者数)  /全配置予定技能者数	0.7以上	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
企業	    主要機械の元請比率	(元請が保有している配置予定主要機械数+子会社が保有	0.5以上	1.0		1.0		1.0		1.0	
	注1)	している配置予定主要機械数+元請が長期リースしている 配置予定主要機械数)/全配置予定主要機械数	0.5未満	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0
	T活用工事の場合は評価対象外									<u> </u>	
<u>〇洪港</u> 企業	工事 選択項目(標準項目に原則 漁港漁場関係事業優良請負者表彰(過 去2年間)	リ的に追加しく評価) 農林水産大臣又は水産庁長官表彰あり		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
技術者	施工環境監理者の資格	技術士(水産土木)を有している 水産工学技士を有している 上記以外		1.0 0.5 0.0	1.0	1.0 0.5 0.0	1.0	1.0 0.5 0.0	1.0	1.0 0.5 0.0	1.0
〇作業	・ 船を使用する港湾・漁港工事(必須	· [項目]									
企業	佐業外の伊夫	保有比率50%以上または保険支払比率50%以上 保有比率20%以上50%未満または保険支払比率20%以上5 保有比率20%未満または保険支払比率20%未満 上記以外	0%未満	2.0 1.0 0.5 0.0	2.0	2.0 1.0 0.5 0.0	2.0	2.0 1.0 0.5 0.0	2.0	2.0 1.0 0.5 0.0	2.0
〇環境′	性能の高い作業船を使用する港湾	·漁港工事(必須項目)									
		保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべを達成した新造船であり、出資比率50%以上保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべを達成した新造船であり、出資比率20%以上50%未満		3.0 (1.5) 1.5 (0.7)		3.0 (1.5) 1.5 (0.7)		3.0 (1.5) 1.5 (0.7)		3.0 (1.5) 1.5 (0.7)	
	環境性能の高い作業船(作業船に設置	保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべ を達成した新造船であり、出資比率20%未満 保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべ		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)	
企業	されている原動機)又は、環境性能の高い作業船(又は新造船)の評価	を達成した船であり、出資比率50%以上 保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべ		2.0 (1.0) 1.0 (0.5)	3.0						
		を達成した船であり、出資比率20%以上50%未満 保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべ を達成した船であり、出資比率20%未満	て環境性能	0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)	
		上記以外		0.0 (0.0)		0.0 (0.0)		0.0 (0.0)		0.0 (0.0)	

#### 〇新技術導入促進(I型)【NETIS登録技術の活用と重複評価ない。新技術活用の原則義務化対象外の工事かつ施工能力評価型I型に適用】

O 491 12	们 <del>等</del> 人促定(1 工/ 1.12120 亚纳文)	100円に上京に置いる。 おうないだけい かんりょう ロバス	<b>(7) 07 —</b> 于70 ~			13.4				
		案された新技術(NETIS登録)の活用が有効かつ具体的である	2.0		2.0		2.0		2.0	
企業		案された新技術(NETIS未登録)の活用が有効かつ具体的である	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0
	了しているが有効性が認められる技術      提	案された新技術の活用が有効かつ、具体的でない	0.0		0.0		0.0		0.0	

<sup>※</sup>平成22年改正前の窒素酸化物放出重基準を満足している作業船について評価する場合は、満点から1/2を乗じて加点する。【表中の() 数値】 ※環境性能の高い作業船(作業船に設置されている原動機)の評価又は環境性能の高い作業船(新造船)の評価の、どちらか高い配点の基準を採用し、重複した評価はしない。

卫和10十段	松口計価冷化力式の計画項目と能点(柄足用光建設的)
○評価項目	

○評価	項目								令和6年9月6	6日以降適用
			若手技術者	育成型	若手技術者	育成型	若手技術者		若手技術者	
	評価項目	評価基準	I型①   I型・I型②   同等   評価   配点   評価   配点   評価   配点   評価   配点   評価   配点   評価   記点   評価   記点   評価   記点   評価   記点   評価   記点   記念   記念   記念   記念   記念   記念   記念	I型(同等評价		Ⅱ 型・I 同等評(				
			評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
	に係る道路工事(選択項目)									
地域 精通度	維持工事の施工実績 (当該工事区間を含む維持実績)	一般土木工事:年間維持除雪工事の施工実績5年以上あり 舗装工事:舗装維持工事の施工実績5年以上あり	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	係る工事の場合に、必要に応じ設定する。				· · · · · ·				•	
Оіст	5用工事(選択項目)									
	ICTの活用	活用あり	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
止未	1010万万万	活用なし	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	2.0
<b>つ登録</b>	基幹技能者等の活用(選択項目)									
	登録基幹技能者、建設マスター、技能者	登録基幹技能者を配置 		1.0		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
企業	を対象工事に配置した場合(元請け又は	建設マスターを配置 技能士を配置					1.0 0.5	重複なし	1.0 0.5	重複なし
	一次下請け)	配置なし		主阪なし		主核なし	0.0	主夜なし	0.0	主阪なし
つせエ	サ後老の左脇に b 7 加上 / 電中項									
	<u>技術者の年齢による加点(選択項</u>  配置予定監理(主任)技術者の年齢に応	日 /   配置予定監理(主任)技術者の年齢が公示日現在満45歳以下である	1.0		1.01		1.0		1.0	
技術者	じて加点	配置予定監理(主任)技術者の年齢が公示日現在満46歳を超えている		1.0	kommunication and a second	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0
※基準は	公告日時点の満年齢									
<u> </u>	クライフバランス等推進企業に対す	トス証価								
<del></del>	<u> </u>	次に掲げるいずれかの認定を受けている								
企		①女性活躍推進法に基づく認定等(プラチナえるぼし・えるぼし認定企業								
単企 の	  ワーク・ライフ・バランス等推進企業等	等) ②次世代法に基づく認定(プラチナくるみん・くるみん(令和4年4月1日								
業能	*5	以降の基準)・くるみん(平成29年4月1日~令和4年3月31日までの	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
力等		基準)・くるみん(平成29年3月31日までの基準)・トライくるみん認定企  業								
寸		*  ③若者雇用促進法に基づく認定(ユースエール認定企業)								
			<u> </u>							
)賃上	げを実施する企業に対する加点措 -		1							
	契約を行う予定の年の4月以降に開始する入	【大企業の場合】対前年度または前年比で給与等受給者一人当たりの 平均受給額を3%以上増加								
企業	札者の最初の事業年度または契約を行う予定 の暦年において、賃上げの実施を従業員に表						にする)・・・①			
	明した企業等の評価	【中小企業の場合】対前年度または前年比で給与総額を1.5%以上増加					た点数が配点			
		la.								
)賃上	げ基準に達していない企業への減	点措置								
企業		賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置			れた日から1年間、第	賃上げ加算点	よりも1点大きな配	点で減点する		
	基準に達していない企業への減点	※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点	(資上げ基準に通	していない企	:業のみ減点対象)					

- ※1 「一般土木」工事では、工事区分「維持」の維持工事(年間維持除雪等)の成績も評価対象とする。(道路部門限定)
- ※2 海外インフラプロジェクト優秀技術者認定・表彰制度に係る評価は「河川・道路・港湾(漁港を除く)」部門のみ対象とする。
- ※3 国土交通省インフラDX大賞は「河川・道路・港湾(漁港を除く)・営繕」部門のみ対象とする。また、優良工事表彰と国土交通省インフラDX大賞、北海道開発局:Con奨励賞の重複加点は行わず、評価値の高い方で評価を行う。
- ※4「新技術導入促進(I型)」を適用する場合は、従来のNETIS評価は行わない。(重複評価はしない)
- ※5 一般土木及び建築のうち、A等級の工事発注を対象とする。

○評価項目

令和6年9月6日以降適用 施工能力評価型 [型① 施工能力評価型 1型①.1型② 施工計画重視型 施工計画重視型 施工計画重視型 評価項目 評価基準 施工計画重視型(3項目) 技術者育成型ロチャレンジ型 施工計画重視型(3項目) 施工計画重視型(3項目) 若手技術者育成型 若手技術者育成型·同等評価型 評価 評価 評価 評価 配点 配点 配点 配点 より同種性の高い工事において、監理(主任)技術者、特例監理 2.0 2.0 技術者又は現場代理人として従事 より同種性の高い工事において監理技術者補佐又は担当技術 同種工事の施工実績 (過去15年間の同種工事実績の同種 者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理(主 2.0 1.0 2.0 1.0 性•立場) 任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事 同種性が認められる工事において監理技術者補佐又は担当技 0.0 0.0 術者として従事 83点以上 3.0 82点以上83点未満 2.8 81点以上82点未満 2.6 80点以上81点未温 2.4 79点以上80点未満 工事成績 2.2 78点以上79点未満 2.0 (過去10年間の開発局発注工事の監 77点以上78点未満 理(主任)技術者、特例監理技術者又 3.0 1.8 技 は現場代理人としての任意の一工 76点以上77点未流 1.6 事,同一工事区分) ※1 75点以上76点未満 1.4 74点以上75点未満 1.2 73点以上74点未満 1.0 72点以上73点未満 0.8 72点未満. 又は実績なし 0.0 局長表彰あり(同一事業部門限定) 2.5 2.5 北海道開発局長優良工事表彰等 海外インフラブロジェクト優秀技術者 国土交通大臣賞 網走開発建設部長表彰あり(同一事業部門限定) 2.5 (過去4年間。但し、舗装工事のみ工) 1.5 1.5 事区分「舗装」での表彰を評価。) 海外インフラブロジェクト優秀技術者 国土交通大臣奨励賞 ※2 重複なし 指定団体の一定数以上の認定有り 0.5 0.5 0.5 CPDへの取組 0.5 0.5 0.5 0.0 0.0 0.0 **※**3 10.0 8.0 テーマ1 **※**3 10.0 8.0 **Ж**3 10.0 8.0 テーマ2 5.0 6.0 20.0 5.0 6.0 20.0 5.0 6.0 20.0 施工監理能力の確認(書面) 当該工事での留意事項等 5.0 5.0 6.0 テーマ3 6.0 5.0 6.0 評価なし 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 重複あり 重複あり 重複あり 小 計(技術者配点) 28.0 20.5 22.5 より同種性の高い工事実績あり 3.0 0.0 同種工事の施工実績 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 同種性が認められる工事実績あり (過去15年間) 0.0 0.0 83点以上 3.0 3.0 3.0 82点以上83点未満 2.8 2.6 2.8 2.6 2.8 2.6 81点以上82点未満 80点以上81点未流 2.4 2.4 2.4 79点以上80点未満 2.2 2.2 2.2 工事成績 (過去2年間の開発局発注工事の成績 78点以上79点未満 2.0 2.0 2.0 77点以上78点未満 1.8 3.0 1.8 3.0 1.8 3.0 平均点。但し、舗装工事のみ工事区 分「舗装」の工事成績平均点を評価。) 76点以上77点未満 1.6 1.6 75点以上76点未満 1.4 1.4 74点以上75点未満 1.2 1.2 73点以上74点未満 1.0 1.0 1.0 72点以上73点未満 0.8 0.8 0.8 72点未満. 又は実績なし 0.0 0.0 0.0

0	评価」	項目								令和6年9月6	6日以降適用
						施工能力評価				施工能力評価型	I 型①, I 型②
				施工計画		施工計画		施工計画			
		評価項目	評価基準	施工計画重初	見型(3項目)	施工計画重視 若手技術者		施工計画重視 若手技術者育成委		技術者育成型E	チャレンジ型
				評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
		52年間の局長等優良工事表彰、	局長表彰または国土交通省インフラDX大賞:大臣賞あり(同一 事業部門限定)	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5		
	励賞	:1年間の北海道開発局i-Con奨 、受賞決定日の翌月1日から2年 国土交通省インフラDX大賞及び	網走開発建設部長表彰または国土交通省インフラDX大賞:優 賞あり(同一事業部門限定)	秀 1.0	主核なし	1.0	主核なし	1.0	主核なし		
企	当該	国エダ通省インノフロス人員及び   年度の工事成績優秀企業。ただ   振工事のみ工事区分「舗装」で	北海道開発局i-Con奨励賞あり(同一事業部門限定)	0.5	(※4)	0.5	(※4)	0.5	(※4)		
業		#表工事のの工事区カー	工事成績優秀企業	0.5		0.5	0.5	0.5	0.5		
			①当該工事の関連分野での技術開発実績(NETIS登録)あり ②有用な新技術の当該工事への活用あり	0.5 0.5		0.5 0.5	4	0.5 0.5	1.0		
		「IS登録技術の活用 ※5 術活用の義務化対象工事では使用しない。】	上記①と②が同技術である	1.0		1.0	·4	1.0	1.0		
			なし	0.0	重複なし	0.0	重複なし	0.0	重複なし		
	地	本支店・営業所の所在地	オホーツク総合振興局管内本店 道内本店かつオホーツク総合振興局管内支店・営業所	1.0 1.0 0.5 0.5	(管内本店が	1.0 1.0 0.5 0.5	(管内本店が	1.0 1.0 0.5 0.5	(管内本店が		
	域精	<b>%</b> 6	道内本店 道内支店·営業所	0.0 0.3	条件の時は配点なし		条件の時は 配点なし)		条件の時は 配点なし)		
	通度	近隣地域での施工実績	2017 (2月) 日本(17) 日本(1	1.C 0.C	1.0	1.0	1.0	1.0 0.0	1.0		
			a 災害時における活動実績あり	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	地 域	災訓練の実績、災害活動拠点及	b 防災訓練の実績 c 管内に災害活動拠点とした社屋を除く倉庫等保有	0.5 0.5	取入しはまじ	0.5 0.5	最大1点まで ただし、b.c.dの	0.5 0.5	最大1点まで ただし、b.c.dの		
	貢		d 管内に通年保有資機材の保有  なし	0.5 0.0	シー み重複あり	0.5 0.5 0.0	か重複あり	0.5 0.5 0.0	か重複あり		
	献 度		a 国の機関との締結あり  b 地方自治体との締結あり	1.0 0.5	<u>"</u>	1.0 0.5	id	1.0 0.5	1		
			なし	0.0	里復なし	0.0	里復なし	0.0	里復なし		
			小 計(企業配点)	管内本店 上記以外	12.0	管内本店 上記以外	12.0	管内本店 上記以外	12.0		_
		r	4項目評価		13.0	上記以外	13.0	工記以外	13.0	20.0	
	術提	簡易な技術提案	### #################################							15.0 10.0 5.0	20.0
矛	等		適切に記載されている							0.0	重複なし
			不適切な記載である、又は未記載								
		技術者の施工監理能力	十分な監理能力が確認できる 一定の監理能力が期待できる								
	リング	技術者の施工計画の理解度	上記以外 施工計画の説明が適切である 施工計画の説明が不適切である								
				管内本店	40.0	管内本店	32.5	管内本店	34.5		20.0
			配点合計	上記以外	41.0	上記以外	33.5	上記以外	35.5	1	20.0

つ評価項目

令和6年9月6日以降適用

施工計画重視型     施工計画重視型     施工計画重視型	令和6年9月6日以降適								<u> 西項目                                   </u>	○評価:
辞価項目   辞価基準   施工計画重視型(3項目)   施工計画重視型(3項目)   施工計画重視型(3項目)   指導技術者育成型   非共称者育成型   非共称者育成型   非共称者育成型   評価   配点   評価   区域   評価   区域   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	施工能力評価型 I型①, I型									
新手技術者育成型   第4世時前のに追加して評価   評価   配点   評価   区点   区点   证品   区点   证品   区点   证品   区点   区点   区点   区点   区点   区点   区点   区		施工計画重視型	施工計							
評価   配点   評価   证法   证法   证法   证法   证法   证法   证法   证						型(3項目)	施工計画重視	評価基準	評価項目	
○舗装工事 選択項目 (標準項目に原則的に追加して評価)						<b>∓</b> 7 ►	=± /±:			
翻接施工管理技術者	配点 評価 配点	評価   配点	1 計1四	配点	評1四	配点	計1四	- 原則的に迫加して証価)	生工事 翠切荷月/梅淮荷月	○結壮
(一般社団法人日本道路建設業 1級×1+2級×05の値を評価 1.0未満 0.0 1.0 0.0 0		1.0	1		1.0		4.0			し舗装.
企業 技能者の元請比率 (元請の配置予定技能者数・子会社の配置予 0.7以上 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0	1.0	1.0		1.0		1.0		1級×1+2級×0.5の値を評価		
企業 技能者の)ショ田正学 定技能者数)ショ配置予定主要機械数・子 主要機械の元請比率 (元請が保有している配置予定主要機械数・元 会社が保有している配置予定主要機械数・元 音が保利している配置予定主要機械数・元 音が原列リースしている配置予定主要機械数) 0.5以上 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0		0.0			0.0				協会認定資格)	
主要機械の元請比率	1.0			1.0		1.0			技能者の元請比率	A 344
主要機械の元請比率   会社が保有している配置予定主要機械数+元   前が長期リースしている配置予定主要機械数   0.5未満   0.0   1.0   1.0   1.0   1.0   1.0   0.		0.0	1				0.0	(元誌が収力) ている和墨スウナ亜機械粉↓ス	·	企業
注1					1.0		1.0	会社が保有している配置予定主要機械数+元 0.5以上	主要機械の元請比率	
注1) ICT活用工事の場合は評価対象外  ○漁港工事 選択項目(標準項目に原則的に追加して評価)  企業 漁港漁場関係事業優良請負者 農林水産大臣又は水産庁長官表彰あり 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0	1.0			1.0	0.0	1.0	0.0	請が長期リースしている配置予定主要機械数) 🦳 👢 🧸 🖽		
○漁港工事         選択項目(標準項目に原則的に追加して評価)           企業         漁港漁場関係事業優良請負者表彰(過去2年間)         農林水産大臣又は水産庁長官表彰あり         1.0         0.5         1.0         0.5         1.0         0.5         1.0         0.5         1.0         0.5         1.0         0.5         1.0         0.5         1.0         0.5         1.0         0.5         1.0         0.0		0.0			0.0		0.0	/全配置予定主要機械数 0.5木凋		
企業 漁港漁場関係事業優良請負者 表彰(過去2年間)									ICT活用工事の場合は評価対象外	注1)IC
世来 表彰(過去2年間) 展标が座入EXは水座1 最名数の分 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0								こ原則的に追加して評価)		
技術者   施工環境監理者の資格   水産工学技士を有している   1.0   0.5   1.0   0.5   1.0   0.5   1.0   0.5   1.0   0.5   1.0   0.5   1.0   0.5   1.0   0.5   1.0   0.5   0.0	1.0	1.0 1.0		1.0	1.0	1.0	1.0	農林水産大臣又は水産庁長官表彰あり	漁港漁場関係事業優良請負者 表彰(過去2年間)	企業
上記以外										
○作業船を使用する港湾・漁港工事(必須項目)  企業 作業船の保有 保有比率20%以上50%未満または保険支払比率20%以上50%未満 1.0 (2.0 (2.0 (2.0 (2.0 (2.0 (2.0 (2.0 (2	1.0			1.0		1.0			者  施工環境監理者の資格 	技術者
企業 作業船の保有 保有比率50%以上または保険支払比率20%以上50%未満または保険支払比率20%以上50%未満 1.0 保有比率20%以上50%未満または保険支払比率20%以上50%未満 0.5 に記以外 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0		0.0]			0.0		0.0	工能以外	· ·	
企業 作業船の保有 保有比率20%以上50%未満または保険支払比率20%未満 1.0 保有比率20%未満または保険支払比率20%未満 0.5 上記以外 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.									業船を使用する港湾・漁港工 <sup></sup>	〇作業
世来 作業船の保有 保有比率20%未満または保険支払比率20%未満 0.5 上記以外 0.0 0.5 0.5										
上記以外	2.0			2.0		2.0			作業船の保有	企業
○環境性能の高い作業船を使用する港湾・漁港工事(必須項目)    保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した新造船であり、出資比率50%以上										
保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した新造船であり、出資比率50%以上 保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した新造船であり、出資比率20%以上50%未満保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した新造船であり、出資比率20%以上50%未満保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境を表現します。	•		•							
境性能を達成した新造船であり、出資比率50%以上 3.0 (1.5) (4.5)		•							竟性能の高い作業船を使用す	〇環境
保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環 1.5 (0.7) 境性能を達成した新造船であり、出資比率20%以上50%未満 1.5 (0.7) 保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環 0.5 (0.2) 0.5 (0.2) 0.5 (0.2) 0.5 (0.2)		3.0 (1.5)	3.0 (1		3.0 (1.5)		3.0 (1.5)			
境性能を達成した新造船であり、出資比率20%以上50%未満 1.5 (0.7) 1.5 (0.7) (R有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環 0.5 (0.2) 0.5 (0.2) 0.5 (0.2)							4 5 40 ->			
		1.5 (0.7)	1.5 ((		1.5 (0.7)		1.5 (0.7)	境性能を達成した新造船であり、出資比率20%以上50%未満		
■		0.5 (0.2)	0.5 (0		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		7 1 to 1/1 1/1 a 1 1 1 1 4 5 1 1 1 1 1 1 1 1	
に設置されている原動機) V.け、 保有状況で提示した作業的に設定されている原動機がすべて環		(/			· · ·		(/		に記罢されている百動機) ワけ	
企業	3.0	2.0 (1.0) 3.0	2.0 (1	3.0	2.0 (1.0)	3.0	2.0 (1.0)			企業
造船)の評価 保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環 10.05		10.05	10.0		10.05		10 05	保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環		
【現性能を達成した船でめり、出資比率20%以上50%木満 【		1.0 0.0	1.0 (		1.0 0.0		1.0 0.5			
保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環 0.5 (0.2) 0.5 (0.2) 0.5 (0.2) 0.5 (0.2)		0.5 (0.2)	0.5 (0		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)			
上記以外 0.0 (0.0) 0.0 (0.0) 0.0 (0.0)		0.0 (0.0)	0.0 (6		0.0 (0.0)		0.0 (0.0)			
1.0 (0.0)		0.0 (0.0)	0.0 (0		, ,	+ + • • • • •	, ,			\

<sup>※</sup>平成22年改正前の窒素酸化物放出量基準を満足している作業船について評価する場合は、満点から1/2を乗じて加点する。【表中の()数値】

#### 〇新技術導入促進(I型)【NETIS登録技術の活用と重複評価なし。新技術活用の原則義務化対象外の工事かつ施工能力評価型I型(チャレンジ型を除く)に適用】

	们等人促進(I主) [NLIIC	3. 豆球技術の治用と主後計画なし。 初我前沿用の床具	我伤心对多个	の工事かっ	/心工化刀 計画	至1至()	プレフノ王と呼い	八一四四十	
	NETIS登録技術又はNETIS掲載	提案された新技術(NETIS登録)の活用が有効かつ具体的である	2.0		2.0		2.0		
企業	期間を終了しているが有効性が	提案された新技術(NETIS未登録)の活用が有効かつ具体的である	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	
	認められる技術	提案された新技術の活用が有効かつ、具体的でない	0.0		0.0		0.0		

<sup>※</sup>環境性能の高い作業船(作業船に設置されている原動機)の評価又は環境性能の高い作業船(新造船)の評価の、どちらか高い配点の基準を採用し、重複した評価はしない。

<u>〇評価</u>	項目								令和6年9月6	6日以降適用
					施工能力評価				施工能力評価型	I 型①, I 型②
			施工計画		施工計画		施工計画			
	評価項目	評価基準	施工計画重視	型(3項目)	施工計画重視 若手技術者		施工計画重視 若手技術者育成型		技術者育成型E	チャレンジ型
			評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
〇現道	に係る道路工事(選択項目)									
地域 精通度		一般土木工事:年間維持除雪工事の施工実績5年以上あり 舗装工事:舗装維持工事の施工実績5年以上あり	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
※現道に	「係る工事の場合に、必要に応じ設	定する。								
OICT	活用工事(選択項目)									
企業	ICTの活用	活用あり  活用なし	2.0 0.0		2.0 0.0	2.0	2.0 0.0	2.0		
<u>○登録</u>	基幹技能者等の活用(選択									
	登録基幹技能者、建設マスター、	登録基幹技能者を配置  建設マスターを配置	1.0 1.0		1.0 1.0	1.0	1.0 1.0	1.0		
企業	技能者を対象工事に配置した場合(元請け又は一次下請け)	技能士を配置	0.5		0.5	重複なし	0.5	重複なし		
	合(元請け又は一次下請け)	配置なし	0.0		0.0		0.0			
<u>〇若手</u>	技術者の年齢による加点(選									
技術者	配置予定監理(主任)技術者の	配置予定監理(主任)技術者の年齢が公示日現在満45歳以下で  ある			1.0	1.0	1.0	1.0		
ם ניון אנ	年齢に応じて加点	配置予定監理(主任)技術者の年齢が公示日現在満46歳を超えている			0.0	1.0	0.0	1.0		
※基準に	は公告日時点の満年齢									
07-	クライフバランス等推進企業	に対する評価								
řΤ	<u> </u>									
企業の能	ワーク・ライフ・バランス等推進企業等	次に掲げるいずれかの認定を受けている ①女性活躍推進法に基づく認定等(プラチナえるぼし・えるぼし認定企業等) ②次世代法に基づく認定(プラチナくるみん・くるみん(令和4年4月1日以降の基準)・くるみん(平成29年4月1日~令和4年3月	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
为等	* /	31日までの基準)・くるみん(平成29年3月31日までの基準)・トライくるみん認定企業 ③若者雇用促進法に基づく認定(ユースエール認定企業)								
〇賃上	げを実施する企業に対する									
V *#r	始する人札石の最初の事業年度また	【大企業の場合】対前年度または前年比で給与等受給者一人当たりの平均受給額を3%以上増加	賃上げ配点 計算 (技術者の小計・	 算式 -企業の小計)	×5%(小数点以下	「切上げて整数	 如にする)・・・(1)			
企業	は契約を行う予定の暦年において、賃 上げの実施を従業員に表明した企業 等の評価	【中小企業の場合】対前年度または前年比で給与総額を1.5%以上増加	①÷(技術者の小	\計+企業の小	ヽ計+①)≥5% (1 ヽ計+①)<5% (1	〕が配点				
	げ基準に達していない企業・	への減占措置								
<u> </u>	·····································	** #**********************************								

賃上げの実施を従業員に表明した 食上げの実施を従業員に表明した 企業 が、賃上げ基準に達していない企業へ の減占 (の減占) 賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点 該当企業は、財務省から通知された日から1年間、賃上げ加算点よりも1点大きな配点で減点する (賃上げ基準に達していない企業のみ減点対象) の減点

#### ○評価項目

_	2 日 岡 没 日								1140-F0114	プログ件だが
					施工能力評価	■型 Ⅰ型①			施工能力評価型	I 型①, I 型②
			施工計画	重視型	施工計画	<b>፲重視型</b>	施工計画	重視型		
	評価項目	評価基準	施工計画重視	!型(3項目)	施工計画重視		施工計画重視	型(3項目)	技術者育成型	チャレンジ型
					若手技術	者育成型	若手技術者育成型			
			評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点

- ※1 「一般土木」工事では、工事区分「維持」の維持工事(年間維持除雪等)の成績も評価対象とする。(道路部門限定)
- ※2 海外インフラプロジェクト優秀技術者認定・表彰制度に係る評価は「河川・道路・港湾(漁港を除く)」部門のみ対象とする。
- ※3 施工監理能力の確認(書面)における配点について、左欄はパターン1、右欄はパターン2の場合に対応している。
- ※4 国土交通省インフラDX大賞は「河川・道路・港湾(漁港を除く)・営繕」部門のみ対象とする。また、優良工事表彰と国土交通省インフラDX大賞、北海道開発局:Con奨励賞の重複加点は行わず、評価値の高い方で評価を行う。
- ※5「新技術導入促進(I型)」を適用する場合は、従来のNETIS評価は行わない。(重複評価はしない)
- ※6 施工計画重視型の地域精通度、左欄は道内本店、右欄は道内本支店営業所に対応している。
- ※7 一般土木及び建築のうち、A等級の工事発注を対象とする。

## 【一般土木・舗装】

〇評価項目

	評価項目								技術提案	2 証価の	÷0		令和6年9	月6日以降適用
						非W	/TO		IX III IXCA	\n\m_=	_	WTO		
	評価項目	評価基準			S	型 型	Ť	A	型 型	1		S型		 A型
					評価	 配点	7	評価	<del></del> 配点	1	評価	配点	評価	配点
	同種工事の施工実績 (過去15年間の同種工事実績の同種 性・立場)	より同種性の高い工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事 より同種性の高い工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事 同種性が認められる工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事			5.0 2.5 0.0	5.0		4.0	8.0			a		 C
技術者	(過去10年間の開発局発注工事の監	83点以上 82点以上83点未満 81点以上82点未満 80点以上81点未満 79点以上80点未満 78点以上79点未満 77点以上78点未満 75点以上77点未満 75点以上75点未満 73点以上75点未満 73点以上75点未満 73点以上75点未満 73点以上75点未満	段階選抜		5.0 4.6 4.2 3.8 3.4 3.0 2.6 2.2 1.8 1.4 1.0 0.6	5.0		8.0 7.3 6.6 5.9 5.2 4.5 3.8 3.1 2.4 1.7 1.0 0.3	8.0	段階選抜		適宜設定 :だし、a=b		適宜設定 ただし、 c=d
	北海道開発局長優良工事表彰等 (過去4年間。但し、舗装工事のみ工 事区分「舗装」での表彰を評価。)	局長表彰あり(同一事業部門限定) 海外インフラブロジェクト優秀技術者 国土交通大臣賞 ※3 網走開発建設部長表彰あり(同一事業部門限定) 海外インフラブロジェクト優秀技術者 国土交通大臣奨励賞	下表		3.0 3.0 1.5	3.0 重複なし		3.0 3.0 1.5 1.5	3.0 重複なし					
	CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定有り 小 計(技術者配点)		l ⊢	1.0	1.0 14.0	+	ļ .	19.0	-	,	<del></del> V		<del></del> -
	  同種工事の施工実績  (過去15年間)	より同種性の高い工事実績あり 同種性が認められる工事実績あり			3.0 0.0	3.0	1	7.0 0.0	7.0			b		d
企業	工事成績	日本日本   日本   日本   日本日本   日本   日本	段階選抜		3.8 3.4 3.0 2.6 2.2 1.8 1.4 0.6	5.0	段階選抜	8.0 7.3 6.6 5.9 5.2	8.0					

#### 【一般土木•舗装】

○評価項目

令和6年9月6日以降適用 技術提案評価型 非WTO WTO 評価項目 評価基準 S型 A型 S型 A型 評価 評価 評価 配点 配点 配点 評価 配点 局長表彰または国土交通省インフラDX大賞:大臣賞あり(同一事業 2.0 2.0 [過去2年間の局長等優良工事表彰、 部門限定) 2.0 2.0 過去1年間の北海道開発局i-Con奨 網走開発建設部長表彰または国土交通省インフラDX大賞:優秀賞 励賞、受賞決定日の翌月1日から2年 1.0 1.0 重複なし 重複なし あり(同一事業部門限定) 間の国土交通省インフラDX大賞及び **※**4 X4 当該年度の工事成績優秀企業。ただ 北海道開発局i-Con奨励賞あり(同一事業部門限定) 0.5 0.5 し、舗装工事のみ工事区分「舗装」で 工事成績優秀企業 0.5 0.5 0.5 0.5 の表彰を評価。] )当該工事の関連分野での技術開発実績(NETIS登録)あり )有用な新技術の当該工事への活用あり 企 NETIS登録技術の活用 ※5 0.5 1.0 【新技術活用の義務化対象工事では 段 :記(1)と(2)が同技術である 1.0 階 使用しない。】 0.0 重複なし 選 a 災害時における活動実績あり 1.0 抜 b 防災訓練の実績 災害活動の実態(活動実績)、防 0.5 最大1点まで 災訓練の実績、災害活動拠点及 に 管内に災害活動拠点とした社屋を除く倉庫等保有 0.5 域 総 ただし、b.c.dの び通年保有資機材の実績 d 管内に通年保有資機材の保有 0.5 み重複あり 貢 合 0.0 評 献 a 国の機関との締結あり 1.0 1.0 価 度 災害活動の実態(協定の締結) b 地方自治体との締結あり 0.5 重複なし 0.0 小 計(企業配点) 13.5 17.5 簡易な技術提案 施工上の課題に対する考え方等 20.0 20.0 高い効果が期待できる 効果が期待できる 技術提案(WTOは段階選抜時) 0~25.0 一般的事項のみの記載となっている 高い効果が期待できる 30.0 術提 技術提案(WTOは段階選抜後) 効果が期待できる (6点×5提 35.0~60.0 一般的事項のみの記載となっている 案) 案 段 施工上の課題に対し最も優位な効果が期待できる 施工上の課題に対し優位な効果が期待できる 選 合評 施工上の課題に対し効果が期待できる 技術提案 総 70.0 70.0 不適切ではないが一般的事項のみの記載となっている 合 価 技術提案が不適切である 十分な監理能力が確認できる ×1.0 技術者同種実 一定の監理能力が期待できる ×0.5 績評価点に係 技術者の施工管理能力 5.0 ×0.0 数を乗じる 上記以外 提案を十分理解している ×1.0 技術提案の評 ×1.0 技術提案の評 提案を理解している ×0.5 価点に係数を ×0.5 価点に係数を 技術提案に対する理解度 30.0 60.0 上記以外 ×0.0 乗じる ×0.0 乗じる (技・企・簡 (技・企・簡 56.5 20.0 易な提案) (技•企• 易な提案) (技・企・ 配点合計 57.5 60.0 提案) 提案) (技・企・ (技・企・ 106.5 70.0 提案) 提案)

							技術提案評值	<b>西型</b>			
	57. / T + T C	=T./T. + :#			非WT	ГО			WTO		
	評価項目	評価基準		5	3型	A	\型	5	6型	Į.	4型
				評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配
表彰	等 選択項目(技術提案評価	型(S型)非WTO工事のうち、段階的選抜方式を実	施する場合に	こ対象)			•	•			
È業	表彰等 (過去2年間の局長等優良工事 表彰及び当該年度の工事成績 優秀企業。または、過去3年間の 同土共作用8巻での異常なる。		憂秀賞、優	2.0	2.5						
	国工技術開発員の受員美積。但 し、舗装工事のみ工事区分「舗 装」での表彰を評価。)	網走開発建設部長表彰あり(同一事業部門限定) 工事成績優秀企業		0.5	重複有り						
術者	の経験。(過去4年間。但し、舗装		′CM、技術	3.0	3.0						
	工事のみ工事区分「舗装」での表  彰を評価。)	  網走開発建設部長表彰あり(同一事業部門限定)		1.5	重複なし						
T12=	┃'´ニボハニ゚ン タとする場合には、上表の表彰部分										
> *	<b>期間を終了」でいるが右効性が</b>	坦家された新は術(NIETIC+AAG)の活田が有効かつ目	本的である 体的である	6.0	6.0			6.0	6.0		
	期間を終了しているが有効性が 認められる技術 工事 選択項目(標準項目	提案された新技術(NETIS未登録)の活用が有効かつ具 提案された新技術の活用が有効かつ、具体的でない に原則的に追加して評価)		3.0	6.0			3.0 0.0	6.0		
	認められる技術	提案された新技術の活用が有効かつ、具体的でない に原則的に追加して評価)		3.0	1.0			3.0	6.0	J	
	<ul><li>工事 選択項目(標準項目 舗装施工管理技術者 (一般社団法人日本道路建設業</li></ul>	提案された新技術の活用が有効かつ、具体的でない に原則的に追加して評価) 1級×1+2級×0.5の値を評価 (元請の配置予定技能者数+子会社の配置予定技能者数)/全配置予定技能者数	(体的である) 1.0以上	3.0 0.0				3.0	6.0	]	
舗装	工事 選択項目(標準項目 舗装施工管理技術者 (一般社団法人日本道路建設業協会認定資格)	提案された新技術の活用が有効かつ、具体的でない に原則的に追加して評価) 1級×1+2級×0.5の値を評価 (元請の配置予定技能者数+子会社の配置予定技能者	性的である 1.0以上 1.0未満 0.7以上	3.0 0.0 1.0 0.0	1.0			3.0	6.0		
<u>舗装</u> 企業	<ul> <li>工事 選択項目(標準項目 舗装施工管理技術者 (一般社団法人日本道路建設業協会認定資格)</li> <li>技能者の元請比率</li> </ul>	提案された新技術の活用が有効かつ、具体的でない   に原則的に追加して評価)   1級×1+2級×0.5の値を評価   (元請の配置予定技能者数+子会社の配置予定技能者数)/全配置予定技能者数   (元請が保有している配置予定主要機械数+子会社が保有している配置予定主要機械数+元請が長期リースしている配置予定主要機械数)/全配置予定主要機械	1.0以上 1.0未満 0.7以上 0.5以上	3.0 0.0 1.0 0.0 1.0 0.0	1.0			3.0	6.0		
<u>舗装</u> 企業	<ul> <li>工事 選択項目(標準項目 舗装施工管理技術者 (一般社団法人日本道路建設業協会認定資格) 技能者の元請比率</li> <li>主要機械の元請比率 注1)</li> </ul>	提案された新技術の活用が有効かつ、具体的でない に原則的に追加して評価) 1級×1+2級×0.5の値を評価 (元請の配置予定技能者数+子会社の配置予定技能者数)/全配置予定技能者数 (元請が保有している配置予定主要機械数+子会社が保有している配置予定主要機械数+元請が長期リースしている配置予定主要機械数)/全配置予定主要機械数	1.0以上 1.0未満 0.7以上 0.5以上	3.0 0.0 1.0 0.0 1.0 0.0	1.0			3.0	6.0		
<u>舗装</u> ) IC 漁港	記められる技術  工事 選択項目(標準項目 舗装施工管理技術者 (一般社団法人日本道路建設業協会認定資格) 技能者の元請比率 主要機械の元請比率 注1)  T活用工事の場合は評価対象外 工事 選択項目(標準項目 漁港漁場関係事業優良請負者	提案された新技術の活用が有効かつ、具体的でない に原則的に追加して評価) 1級×1+2級×0.5の値を評価 (元請の配置予定技能者数+子会社の配置予定技能者数)/全配置予定技能者数 (元請が保有している配置予定主要機械数+子会社が保有している配置予定主要機械数+元請が長期リースしている配置予定主要機械数)/全配置予定主要機械数 (こ原則的に追加して評価) 農林水産大臣又は水産庁長官表彰ありなし	1.0以上 1.0未満 0.7以上 0.5以上	3.0 0.0 1.0 0.0 1.0 0.0	1.0			3.0	6.0		

力

等

#### 【一般土木•舗装】

〇評価項目 令和6年9月6日以降谪用 技術提案評価型 非WTO WTO 評価項目 評価基準 S型 A型 S型 A型 評価 評価 評価 配点 配点 配点 評価 配点 ○環境性能の高い作業船を使用する港湾・漁港工事(必須項目) 保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境 1.5 (0.7) 性能を達成した新造船であり、出資比率50%以上 保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境 1.0 (0.5) 性能を達成した新造船であり、出資比率20%以上50%未満 保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境 0.5 (0.2) 環境性能の高い作業船(作業船 性能を達成した新造船であり、出資比率20%未満 に設置されている原動機)又は、 保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境 企業 1.5 1.0 (0.5) 環境性能の高い作業船(新造 性能を達成した船であり、出資比率50%以上 船)の評価 保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境 0.5 (0.2) 【性能を達成した船であり、出資比率20%以上50%未満 保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境 0.0 (0.0 性能を達成した船であり、出資比率20%未満 上記以外 0.0 (0.0) ※平成22年改正前の窒素酸化物放出量基準を満足している作業船について評価する場合は、満点から1/2を乗じて加点する。【表中()の数値】 ※環境性能の高い作業船(作業船に設置されている原動機)の評価又は環境性能の高い作業船(新造船)の評価の、どちらか高い配点の基準を採用し、重複した評価はしない。 OICT活用工事(選択項目) 活用あり 2.0 企業 ICTの活用 2.0 活用なし 0.0 ○登録基幹技能者等の活用(選択項目) 登録基幹技能者を配置 登録基幹技能者、建設マスタ-1.0 建設マスターを配置 1.0 企業 技能者を対象工事に配置した場 建設、八 技能士 配置なし 0.5 重複なし 合(元請け又は一次下請け) 〇ワークライフバランス等推進企業に対する評価 次に掲げるいずれかの認定を受けている ①女性活躍推進法に基づく認定等(プラチナえるぼし・えるぼし認定 企 企業等) 業 ワーク・ライフ・バランス等推進企 企 の ②次世代法に基づく認定(プラチナくるみん・くるみん(令和4年4月 業等 1.0 1.0 0.5 0.5 1.0 1.0 能 1日以降の基準)・くるみん(平成29年4月1日~令和4年3月31日

までの基準)・くるみん(平成29年3月31日までの基準)・トライくる

③若者雇用促進法に基づく認定(ユースエール認定企業)

みん認定企業

#### 【一般土木•舗装】

# ○評価項目

令和6年9月6日以降適用

								技術提案部	平価型				
	· 本语日			非WT	TO			_		WTO			
	評価項目 評価項目 評価基準			5	6型		A	<b>\</b> 型		S	型	/	4型
				評価	配点		評価	配点		評価	配点	評価	配点
〇賃上	げを実施する企業に対する	加点措置											
	契約を行う予定の年の4月以降に開始する入札者の最初の事業年度または契約を行う予定の暦年において、		(技術者	の小計+企	と業の小計)×り			・切上げて整数に					
				術者の小計 数が配点	十十企業の小計	++1)	)≧5% ①	が配点(1	D÷(技	術者の小計・	+企業の小計	·+①)<5%	①に1点加

#### ○賃上げ基準に達していない企業への減点措置

企業	賃上げの実施を従業員に表明した が、賃上げ基準に達していない企業 への減点	賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点	該当企業は、財務省から通知された日から1年間、賃上げ加算点よりも1点大きな配点で減点する (賃上げ基準に達していない企業のみ減点対象)
----	---	--	--

- ※1 「一般土木」工事では、工事区分「維持」の維持工事(年間維持除雪等)の成績も評価対象とする。(道路部門限定)
- ※2「舗装」工事では、工事区分「維持」の舗装補修工事又は舗装維持工事の成績も評価対象とする。(道路部門限定)
- ※3 海外インフラプロジェクト優秀技術者認定・表彰制度に係る評価は「河川・道路・港湾(漁港を除く)」部門のみ対象とする。
- ※4 国土交通省インフラDX大賞は「河川・道路・港湾(漁港を除く)・営繕」部門のみ対象とする。また、優良工事表彰と国土交通省インフラDX大賞及び北海道開発局:Con奨励賞の重複加点は行わず、評価値の高い方で評価を行う。
- ※5「新技術導入促進(I型)」を適用する場合は、従来のNETIS評価は行わない。(重複評価はしない)
- ※6 一般土木及び建築のうち、政府調達協定対象工事及びA等級の工事を対象とする。

## 【鋼橋上部・PSコンクリート・維持・塗装・造園】

#### ○評価項目

Ť	T III		タイプ		施工能力	力評価型				施.	工能力評	価型	114104-6		
			ダイフ	I 型	1 1	I 型	<u>!</u> ②	地域維	· +± #II		I 型 (	1		I	I 型
	評価項目	評価基準	工種	鋼	橋上部∙P	Sコンクリー	-ト	也與報 (JV対象		管渠 植栽維持			維持•河川 寺•造園		- 造園
			地域要件		道内本支	店∙営業所		道内	本店	道内 道内本支师			内本店	管内	内本店 内本店
				評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
		より同種性の高い工事において、監理(主任)技術者、 術者又は現場代理人として従事	、特例監理技	3.0		7.0		7.0		3.0		3.0		7.0	
	同種工事の施工実績 (過去15年間の同種工事実績の同種 性・立場)	より同種性の高い工事において監理技術者補佐又は として従事、又は同種性が認められる工事において、 技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	監理(主任)	1.5	3.0	3.5	7.0	3.5	7.0	1.5	3.0	1.5	3.0	3.5	7.0
		同種性が認められる工事において監理技術者補佐又 者として従事	は担当技術	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
技術者	工事成績 (過去10年間の開発局発注工事の監理(主任)技術者あるいは現場代理人 としての任意の一工事,同一工事区 分)	83点以上 82点以上83点未満 81点以上82点未満 80点以上81点未満 79点以上80点未満 78点以上79点未満 77点以上78点未満 75点以上77点未満 75点以上77点未満 75点以上75点未満 73点以上75点未満 73点以上73点未満 72点以上73点未満		3.0 2.8 2.6 2.4 2.2 2.0 1.8 1.6 1.4 1.2 1.0 0.8	3.0	8.0 7.3 6.6 5.9 5.2 4.5 3.8 3.1 2.4 1.7 1.0 0.3	8.0	8.0 7.3 6.6 5.9 5.2 4.5 3.8 3.1 2.4 1.7 1.0 0.3	8.0	3.0 2.8 2.6 2.4 2.2 2.0 1.8 1.6 1.4 1.2 1.0 0.8	3.0	3.0 2.8 2.6 2.4 2.2 2.0 1.8 1.6 1.4 1.2 1.0 0.8	3.0	8.0 7.3 6.6 5.9 5.2 4.5 3.1 2.4 1.7 1.0 0.3	8.0
	北海道開発局長優良工事表彰等 (過去4年間)	局長表彰あり(同一事業部門限定) 海外インフラブロジェクト優秀技術者 国土交通大臣 網走開発建設部長表彰あり(同一事業部門限定) 海外インフラブロジェクト優秀技術者 国土交通大臣		3.0 3.0 1.5 1.5	3.0 重複なし	3.0 3.0 1.5 1.5		3.0 3.0 1.5 1.5	3.0 重複なし	3.0 3.0 1.5 1.5		3.0 3.0 1.5 1.5	3.0 重複なし	3.0 3.0 1.5 1.5	3.0 重複なし
1	CPDへの取り組み	指定団体の一定数以上の認定有り		0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0
	施工監理能力の確認(書面)	過去の同種工事の実績・経験を踏まえた、当該工事 での留意事項等	秀 優 良 可	10.0 6.7 3.3 0.0	10.0					10.0 6.7 3.3 0.0		10.0 6.7 3.3 0.0	10.0		
		」 小 計(技術者配点)		5.0	19.5		19.0		19.0	0.0	19.5	0.0	19.5		19.0
	同種工事の施工実績 (過去15年間)	より同種性の高い工事実績あり  同種性が認められる工事実績あり		5.0 0.0	5.0	5.0 0.0		5.0 0.0	5.0	4.0 0.0		4.0 0.0	4.0	4.0 0.0	4.0

## 【鋼橋上部・PSコンクリート・維持・塗装・造園】

#### ○評価項目

				タイプ			力評価型				施.	工能力評	価型_			
				317	I 型	1 1	Ιጟ	<u>l</u> 2	地域維	<b>:</b>		I 型 (	-		I	[ 型
	評価項目		評価基準	工種	鋼	橋上部∙P	Sコンクリー	-ト	·····································		管渠: 植栽維持		舗装料 維持	推持•河川 持•造園		:•造園
				地域要件		道内本支	店∙営業所		道内	本店	道内: 道内本支原		管区	内本店		7本店 7本店
				,	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
	工事成績 (過去2年間の開発局発注 平均点)	⊑工事の成績	83点以上 82点以上83点未満 81点以上82点未満 81点以上81点未満 79点以上80点未満 78点以上79点未満 77点以上78点未満 76点以上77点未満 75点以上76点未満 74点以上75点未満 73点以上74点未満 72点以上73点未満		6.0 5.5 5.0 4.5 4.0 3.5 3.0 2.5 2.0 1.5 1.0 0.5	6.0	6.0 5.5 5.0 4.5 4.0 3.5 3.0 2.5 2.0 1.5 1.0 0.5	6.0	6,0 5,5 5,0 4,5 4,0 3,5 3,0 2,5 2,0 1,5 1,0 0,5	6.0	5.0 4.6 4.2 3.8 3.4 3.0 2.6 2.2 1.8 1.4 1.0 0.6	5.0	5.0 4.6 4.2 3.8 3.4 3.0 2.6 2.2 1.8 1.4 1.0 0.6 0.0	5.0	5.0 4.6 4.2 3.8 3.4 3.0 2.6 2.2 1.8 1.4 1.0 0.6	5.0
	表彰等 [過去2年間の局長等優良 過去1年間の北海道開発 賞、受賞決定日の翌月1日	局i−Con奨励 ∃から2年間	局長表彰または国土交通省インフラDX大賞:大臣賞さ業部門限定) 網定開発建設部長表彰または国土交通省インフラDX 賞あり(同一事業部門限定)		2.0 1.0	2.0	2.0 1.0	2.0	2.0 1.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	2.0 1.0	2.0
	の国土交通省インフラDX式 該年度の工事成績優秀企 舗装工事のみ工事区分「倉	業。ただし、	北海道開発局i-Con奨励賞あり(同一事業部門限定)		0.5	重複なし	0.5	重複なし	0.5	重複なし	0.5	重複なし	0.5	重複なし	0.5	重複なし
企業	彰を評価。] ※3		工事成績優秀企業 ※4		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	NETIS登録技術の活用 【新技術活用の義務化対象エ事では使用しない。】 ※5		①当該工事の関連分野での技術開発実績(NETIS登) ②有用な新技術の当該工事への活用あり 上記①と②が同技術である ②有用な新技術の当該工事への活用あり	録)あり	0.5 0.5 1.0 0.0		0.5 0.5 1.0 0.0		1.0 0.5 0.5 0.0	1.0 重複なし						
	地 本支店・営業所の所 域 ※6、※7 精	在地	オホーツク総合振興局管内本店 道内本店かつオホーツク総合振興局管内支店・営業 道内本店 北海道内に工場が所在 道内支店・営業所	所	- 1.0 - 0.5 1.0 0.3 0.5 - 0.0	1.0	- 1.0 - 0.5 1.0 0.3 0.5 - 0.0 0.0	1.0	1.0 0.5 0.0	1.0	2.0 2.0 1.0 1.0 0.0 0.5 — 0.0	2.0				2.0 (管内本 店が条件 の時は配 点なし)
	通度 (過去10年間のオホー 振興局管内実績)		5件以上あり 4件以下又はなし		1.0 0.0	1.0	1.0 0.0	1.0	1.0 0.0	1.0	2.0 0.0	2.0	2.0 0.0	2.0	2.0 0.0	2.0

## 【鋼橋上部・PSコンクリート・維持・塗装・造園】

### ○評価項目

#### 令和6年9月6日以降適用

	11 111111111			<b>5.</b> 1→°		施工能力	力評価型				施.	工能力評	価型			
				タイプ	I型	1 1	I型	<u>u</u> 2	11h 1-4 6	# ++ #II		I 型 (	1)		П	型
		評価項目	評価基準	工種	鋼	橋上部∙P	Sコンクリー		地域糺 (JV対拿	# 持空 東工事)	管渠 植栽維持		舗装網維持	推持·河川 诗·造園	維持	▪造園
				地域要件	は安件		担内本文店 呂未別			営業所 官内本店		管内	本店  本店			
				,	評価					配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
			a 災害時における活動実績あり		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		1.0		1.0	1.0	1.0	1.0
	地	災害活動の実態(活動実績)、防 災訓練の実績、災害活動拠点及	c 管内に災害活動拠点とした社屋を除く倉庫等保有		0.5 0.5	. 最大1点まで ただし、b, c	บ.อ	. 最大1点まで ただし、b, c	บ.อ	最大1点まで ただし、b, c		最大1点まで ただし、b, c	0.0	最大1点まで ただし、b, c	0.5 <sub>5</sub>	最大1点まで ただし、b, c
	貝	び通年保有資機材の実績	d 管内に通年保有資機材の保有 なし		0.5 0.0	及びdのみ重 梅あい	0.5 0.0	及びdのみ重	0.5 0.0	及びdのみ重 複あり	0.5 0.0	及びdのみ重	0.5 0.0	及びdのみ重 複あり	0.5 <sup>2</sup> 0.0	及びdのみ重 複あり
	献度		a 国の機関との締結あり		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	1.0	1.0	1.0
	及	災害活動の実態(協定の締結)	□ 地方自治体との締結あり なし		0.5 0.0	■ 重複かⅠ	0.5 0.0	重複かし	0.5 0.0	重複なし	0.5 0.0	重複なⅠ	0.5	重複なし	0.5	重複なし
			小 計(企業配点)			18.5		18.5		18.5		17.5		15.5	•	17.5
技征	f提案 等	施工計画	適切に記載されている 不適切な記載である、又は未記載				可 不可	失格	可 不可	失格						
	セ ア 技術者の施工監理能力 リ		十分な監理能力が確認できる 一定の監理能力が期待できる 上記以外				7.0 ×1.0 3.5 ×0.5 0.0 ×0.0	技術者同種実 結評価占に係数	7.0 ×1.0 3.5 ×0.5 0.0 ×0.0	技術者同種実 績評価点に係数 を乗じる						
	ン グ	技術者の施工計画の理解度	施工計画の説明が適切である 施工計画の説明が不適切である		可 不可 失格			可 不可								
			配 点 合 計			38.0		37.5		37.5		37.0		35.0		36.5

#### ○地域維持型のJV対象工事の本支店・営業所

_	所本の支	当該事務所管内本店
企業	所店在営	オホーツク総合振興局管内本店
	在宮地業	上記以外の道内本店・支店・営業所
_		

1.0	
0.5	1.0
0.0	

#### OICT活用工事(選択項目)

_		1加工学(达)(没口/					
	<b>企業</b>	ICTの注用	活用あり		2.0	2.0	2.0
	企業	にの活用	活用なし		0.0	0.0	0.0

#### 〇登録基幹技能者等の活用(選択項目)

<u> </u>	<del></del>													
		登録基幹技能者を配置	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
企業	サルナナリケーナレ 四甲・1 1	建設マスターを配置	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.	) 1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
止未	技能者を対象工事に配直した場  合(元請け又は一次下請け)	技能士を配置	0.5	重複なし	0.5	重複なし	0.5	重複なし	0.	重複なし	0.5	重複なし	0.5	重複なし
	日(元明リスは 久下明リ)	上記以外	0.0		0.0		0.0		0.	<u></u>	0.0		0.0	

<sup>※</sup>地域維持型JV対象工事の評価基準を上記のとおり読み替えてください。

#### 【鋼橋上部・PSコンクリート・維持・塗装・造園】

#### 〇評価項目

#### 令和6年9月6日以降適用

施工能力評価型

			タイプ	I 型	1	I 型	2	地域維	+± #II		I 型 (	1)	I	.型
	評価項目	評価基準	工種	鋼材	喬上部•P	Sコンクリー	7	(JV対象		管渠 植栽維持		舗装維持·河川 維持·造園	<b>花</b> 村	•造園
			地域要件	ì	道内本支	店∙営業所		道内本	店	道内: 道内本支际		管内本店		]本店 ]本店
				評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価 配点	評価	配点
〇新技	i術導入促進(Ⅰ型)【NETIS	登録技術の活用と重複評価なし。新技術活	用の原則	<u>義務化対象</u>	外のエ	事かつ施エ	能力評	価型 I 型に	□適用】					
企業	期間を終了しているが有効性が	提案された新技術(NETIS登録)の活用が有効かつ」 提案された新技術(NETIS未登録)の活用が有効かつ 提案された新技術の活用が有効かつ、具体的でない	具体的である	2.0 1.0 0.0	2.0	2.0 1.0 0.0	2.0							
	体制評価点													
※0.1億円		施工体制が十分確保、要求要件をより確実に実現可施工体制が概ね確保、要求要件を確実に実現可能 その他	能	15.0 5.0 0.0	15.0	15.0 5.0 0.0	15.0	15.0 5.0 0.0	15.0	15.0 5.0 0.0	15.0	15.0 5.0 15.0 0.0	15.0 5.0 0.0	15.0
※0.1億円		施工体制が十分確保、要求要件をより確実に実現可施工体制が概ね確保、要求要件を確実に実現可能 その他	能	15.0 5.0 0.0	15.0	15.0 5.0 0.0	15.0	15.0 5.0 0.0	15.0	15.0 5.0 0.0	15.0	15.0 5.0 15.0 0.0	15.0 5.0 0.0	15.0

施工能力評価型

#### ○賃上げを実施する企業に対する加点措置

<u> </u>	<u> </u>		
	契約を行う予定の年の4月以降に開始する入札者の最初の事業年度または契約を行う予定の暦年において、賃		(技術者の小計+企業の小計)×5%(小数点以下切上げて整数にする)・・・①
上来		【中小企業の場合】対前年度または前年比で給与総額を1.5%以	①÷(技術者の小計+企業の小計+①)≧5% ①が配点 ①÷(技術者の小計+企業の小計+①)<5% ①に1点加点した点数が配点

#### ○賃上げ基準に達していない企業への減点措置

企業		賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点	該当企業は、財務省から通知された日から1年間、賃上げ加算点よりも1点大きな配点で減点する (賃上げ基準に達していない企業のみ減点対象)
----	--	--	--

- ※1 区画線設置工事(塗装)をⅡ型で発注する場合は、維持・造園Ⅱ型を参照すること。
- ※2 海外インフラプロジェクト優秀技術者認定・表彰制度に係る評価は「河川・道路・港湾(漁港を除く)」部門のみ対象とする。
- ※3 国土交通省インフラDX大賞は「河川・道路・港湾(漁港を除く)・営繕」部門のみ対象とする。また、優良工事表彰、国土交通省インフラDX大賞及び北海道開発局:Con奨励賞の重複加点は行わず、評価値の高い方で評価を行う。
- ※4 工事区分「造園」・「塗装」で発注する工事は、工事成績優秀企業(0.5点)を評価項目として設定しない。
- ※5 「新技術導入促進(I型)」を適用する場合は、従来のNETIS評価は行わない。(重複評価はしない)
- ※6 鋼橋上部・PSコンクリートの地域精通度、左欄は鋼橋上部、右欄はPSコンクリートに対応している。
- ※7 I型①(管渠清掃・植栽維持・塗装)の地域精通度配点、左欄は道内本店、右欄は道内本支店営業所に対応している。

## 令和6年度 総合評価落札方式の評価項目と配点(網走開発建設部) 【電気・機械・営繕】

12.11	10年9月0日以降適用					電気		
					施工能	力評価型		
	評価項目	評価基準	(電気コ	□事)Ⅱ型	(電気通	信工事)Ⅱ型	I	型①
	計画項目	計Ш季年	0.8億	刊未満	0.8億	原用未満	0.8億	意円以上
			0.0 1/2			通信工事(括弧		31 1.21
			評価	配点	評価	配点	評価	配点
		より同種性の高い工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	7.0		7.0		3.0	
	同種工事の施工実績 (過去15年間の同種工事実績の同種性・立場)	より同種性の高い工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認め られる工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	3.5	7.0	3.5	7.0	1.5	3.0
		同種性が認められる工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事	0.0		0.0		0.0	
		83点以上	8.0		8.0		3.0	
1		82点以上83点未満	7.3		7.3		2.8	
1		81点以上82点未满	6.6		6.6		2.6	
1		80点以上81点未满	5.9		5.9		2.4	
1	工事成績	79点以上80点未満	5.2		5.2		2.2	
技	(過去10年間の開発局発注工事の監理(主任)技術者	78点以上79点未満 77点以上78点未満	4.5	0.0	4.5	0.0	2.0	0.0
術	あるいは現場代理人としての任意の一工事, 同一工事		3.8	8.0	3.8	8.0	1.8	3.0
者	区分)	76点以上77点未満	3.1		3.1		1.6	
		75点以上76点未満	2.4		2.4		1.4	
		74点以上75点未満 70. F. N. L-74. F. 平洋	1.7		1.7		1.2	
		73点以上74点未満	1.0		1.0		1.0	
		72点以上73点未満	0.3		0.3		0.8	
		72点未満、又は実績なし	0.0		0.0		0.0	
	北海道開発局長優良工事表彰等 ※1	局長表彰あり(同一事業部門限定)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
		網走開発建設部長表彰あり(同一事業部門限定)	1.5	重複なし	1.5	重複なし	1.5	重複なし
	CPDへの取り組み	指定団体の一定数以上の認定有り	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5
	施工監理能力の確認(書面)	過去の同種工事の実績・経験を踏まえた、当該工事での留意事項等 優					10.0 6.7 3.3 0.0	10.0
		小 計(技術者配点)		19.0		19.0		19.5
	同種工事の施工実績	より同種性の高い工事実績あり	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	(過去15年間)	同種性が認められる工事実績あり	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0	4.0
		83点以上	5.0		5.0		5.0	
1		82点以上83点未満	4.6		4.6		4.6	
1		81点以上82点未満	4.2		4.2		4.2	
1		80点以上81点未満	3.8		3.8		3.8	
		79点以上80点未満	3.4		3.4		3.4	
1	   工事	78点以上79点未満	3.0		3.0		3.0	
1	<b>▲</b> ● 以槓	77点以上78点未満	2.6	5.0	2.6	5.0	2.6	5.0
企	(適去2年间の開発向発注工事の放績平均点)	76点以上77点未満	2.2		2.2		2.2	
業		75点以上76点未満	1.8		1.8		1.8	
1		74点以上75点未満	1.4		1.4		1.4	
1		73点以上74点未満	1.0		1.0		1.0	
1		72点以上73点未満	0.6		0.6		0.6	
1		72点未満, 又は実績なし	0.0		0.0		0.0	
	表彰等	局長表彰または国土交通省インフラDX大賞	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	(過去2年間の局長等優良工事表彰、過去1年間の北海 道開発局i-Con奨励賞、受賞決定日の翌月1日から2年	網走開発建設部長表彰または国土交通省インフラDX大賞 優秀賞あり	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0
	間の国土交通省インフラDX大賞)	北海道開発局i-Con奨励賞あり	0.5	重複なし※2	0.5	重複なし※2	0.5	重複なし※2

							意気 力評価型		
								_	TT-1 (C)
		評価項目	評価基準	(電気	.工事)Ⅱ型	(電気通信	工事)Ⅱ型	I	型①
		2 7		0.81	意円未満		円未満		意円以上
							通信工事(括弧:	書き)	
				評価	配点	評価	配点	評価	配点
			①当該工事の関連分野での技術開発実績(NETIS登録)あり						
		TS登録技術の活用 <sub>術活用の義務化対象工事では使用しない。</sub> 】	②有用な新技術の当該工事への活用あり 上記①と②が同技術である				_		
	7月1人	門/10月の 我分に対象工事では反用しない。』	本品のとのか。  12   12   12   12   12   12   12   12						
			オホーツク総合振興局管内本店	2.0		2.0		1.0(2.0)	
			道内本店かつオホーツク総合振興局管内支店・営業所	_		1.0		0.5(1.0)	
			道内本店			0.5		0.3(0.5)	1.0
,	地	本支店・営業所の所在地	道内支店・宮景所	_	2.0	0.0	2.0	0.0	(2.0)
企 業	域 精		隣接総合振興局等(上川・宗谷・十勝・釧路・根室)管内本店かつオホーツク総合振興局管内支店・営業所	1.0		_		—	
	通		隣接総合振興局等(上川・宗谷・十勝・釧路・根室)管内本店	0.5				_	<b>※</b> 3
	度		上記以外	0.0		_			1.0
		近隣地域での施工実績	5件以上あり	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0(2.0)	(2.0)
		(過去10年間のオホーツク総合振興局管内実績)	4件以下又はなし	0.0		0.0	9	0.0	×3
Ī			a 災害時における活動実績あり	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	地	災害活動の実態(活動実績)、防災訓練の実績、	b 防災訓練の実績 	0.5	最大1点まで	0.5	是大1点まで	0.5	早十1占士で
		災害活動拠点及び通年保有資機材の実績	c 管内に災害活動拠点とした社屋を除く倉庫等保有 d 管内に通年保有負機材の保有	0.5	取入「点まで ただし、b, c, dのみ重 複あり	0.5 <sup>元</sup> 7: 0.5 紀	たてはませた だし、b, c, dのみ重 変あり	0.5	最大1点まで ただし、b, c, dの 複あり
	貢		ロ 官内に通牛体付員機材の体付	0.0	複あり	U.5 核 0.0	<b>夏あり</b>	0.0	複あり
	献		a 国の機関との締結あり	1.0		1.0		1.0	
	度	災害活動の実態(協定の締結)	b 地方自治体との締結あり なし	0.5 0.0	1.0	0.5 0.0	1.0	0.5 0.0	1.0
			小 計(企業配点)		17.0		17.0		15.0 (17.0)
支術技	<b>建案</b>	施工計画	適切に記載されている						
等		<u></u>	不適切な記載である、又は未記載						
۲		1+45 + 0 + + = FE TO 44 +	十分な監理能力が確認できる						
アリ		技術者の施工監理能力	一定の監理能力が期待できる						
ッン			上記以外						
グ		技術者の施工計画の理解度	施工計画の説明が適切である 施工計画の説明が不適切である						
	,		配点合計		36.0		36.0		34.5 (36.5)
)	紀事	<u> </u>			30.0		30.0		(30.3)
<i>)</i> <u> </u>	<u> </u>		登録基幹技能者を配置	1.0				1.0	
企	¥	登録基幹技能者、建設マスター、技能者を対象工	建設マスターを配置	1.0			_	1.0	1.0
TE 2	Γ.	事に配置した場合(元請け又は一次下請け)	技能士を配置	<u> </u>	重複なし			0.5	重複なし
			上記以外	0.0				0.0	
)新打	で行る	鼻人促進(Ⅰ型)【NETIS登録技術の活用と重複評 「	価なし。新技術活用の原則義務化対象外の工事かつ施工能力評価型 I 型に適用】 【提案された新技術(NETIS登録)の活用が有効かつ具体的である						
企訓	ŧ	NETIS登録技術又はNETIS掲載期間を終了してい	提案された新技術(NETIS未登録)の活用が有効かつ具体的である		_		_		_
т-2	,	るが有効性が認められる技術	提案された新技術の活用が有効かつ、具体的でない	•					
	手技	技術者の年齢による加点(選択項目)				_		_	
)若									
<u>)若</u> 技術		若手技術者育成型の年齢評価	配置予定技術者の年齢が公示日現在40歳以下 配置予定技術者の年齢が公示日現在41歳以上45歳以下		_				_

					電気		
				施工能	力評価型		
評価項目	—————————————————————————————————————	(電気エ	事)Ⅱ型	(電気通	言工事)Ⅱ型	I	型①
<b>正顺绕口</b>	TIM至午	0.8億	円未満	0.8億	0.8億	円以上	
		0.0 [65]			通信工事(括弧		
		評価	配点	評価	配点	評価	配点
或点項目							
35.3ヶ月間の指名停止状況	指名停止有り(停止期間1ヶ月超)	-1.5		-1.5		-1.5	
1ヶ月間の指名停止等状況	指名停止有り(停止期間1ヶ月以下)	-1.5	-1.5	-1.5	-1.5	-1.5	-1.5
2 7 7 7 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	文書注意有り	-1.0	重複なし	-1.0	重複なし	-1.0	重複な
	口頭注意有り	-0.5		-0.5		-0.5	
6ヶ月の施工状況等	修補請求等を受けた	-0.5	- 10	-0.5	4.0	-0.5	
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	修補請求等を受けた工事が低入札	-1.0	-1.0	-1.0	-1.0	-1.0	-1.0
<b>拖工体制評価点</b>							
	施工体制が十分確保、要求要件をより確実に実現可能	15.0		15.0		15.0	
確保の実効性	施工体制が概ね確保、要求要件を確実に実現可能	5.0	15.0	5.0	15.0	5.0	15.0
1億円以上対象	その他	0.0		0.0		0.0	
<b>计划亦从《亦中性</b>	施工体制が十分確保、要求要件をより確実に実現可能	15.0		15.0		15.0	
体制確保の確実性	施工体制が概ね確保、要求要件を確実に実現可能	5.0	15.0	5.0	15.0	5.0	15.0
1億円以上対象	その他	0.0		0.0		0.0	
術者 監理(主任)技術者の資格	技術士 技術士又は一級建築士 1級土木施工管理技士又は1級建築施工管理技士経験年数5年以上 一級建築士又は1級建築施工管理技士経験年数5年以上 上記以外	(1.0) — — —	1.0			(0.5) — — — 0.0	0.5
		9.01		•			
企 業 の で 能 が カ 等	次に掲げるいずれかの認定を受けている ①女性活躍推進法に基づく認定等(プラチナえるぼし・えるぼし認定企業等) ②次世代法に基づく認定(プラチナくるみん・くるみん(令和4年4月1日以降の基準)・くるみん(平成29年4月1日~令和4年3月31日までの基準)・くるみん(平成29年3月31日までの基準)・トライくるみん認定企業 ③若者雇用促進法に基づく認定(ユースエール認定企業)						
<b>賃上げを実施する企業に対する加点措置</b>							
契約を行う予定の年の4月以降に開始する入札者の ○業 の事業年度または契約を行う予定の暦年において、		にする)・・・①			*業の小計)×59		
げの実施を従業員に表明した企業等の評価	【中小企業の場合】対前年度または前年比で給与総額を1.5%以上増加		の小計+企業の ①) <5% ①			①÷(技	術者の小

|賃上げの実施を従業員に表明したが、賃上げ基準に達し | 賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 企業 ていない企業への減点

※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点

該当企業は、財務省から通知された日から1年間、賃上げ加算点よりも1点大きな配点で 減点する

(賃上げ基準に達していない企業のみ減点対象)

- ※1 配置予定技術者が特例監理技術者として配置予定であり、本工事が2件目の配置となる場合には、優良工事表彰を受けている場合でも評価しない。
- ※2 国土交通省インフラDX大賞は「河川・道路・港湾(漁港を除く)・営繕」部門のみ対象とする。また、優良工事表彰、国土交通省インフラDX大賞及び北海道 開発局i-Con奨励賞の重複加点は行わず、評価値の高い方で評価を行う。
- ※3 電気及び営繕における地域精通度の( )書きは、工事区分等級A以外の工事の場合に適用する配点とする。
- ※4 一般土木及び建築のうち、A等級の工事発注を対象とする。

## 令和6年度 総合評価落札方式の評価項目と配点(網走開発建設部) 【電気・機械・営繕】

	410年9月0日以降週用		Į.					機械装置	#II		
	評価項目		ŀ	]	 I 型			能力評価 型 ①	至	I 西	<u>!</u> ②
	TIM/40	TIM 全十	-		2.5億				2.5億		
			-	評価	機 <sup>;</sup> 配点	械器具  評価	<u>設置工事</u> 配点	,鋼構造物 評価	工事(括列工事) 配点	瓜書き) 評価	配点
		より同種性の高い工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人と		7.0	111.11	3.0	11111111111111111111111111111111111111	3.0	印点	7.0	111.11
	同種工事の施工実績 (過去15年間の同種工事実績の同種性・立場)	より同種性の高い工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性 られる工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	性が認め	3.5	7.0	1.5	3.0	1.5	3.0	3.5	7.0
		同種性が認められる工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事		0.0		0.0		0.0		0.0	
技術者	あるいは現場代理人としての任意の一工事,同一工事区分)	83点以上 82点以上83点未満 81点以上82点未満 80点以上81点未満 79点以上80点未満 77点以上79点未満 77点以上76点未満 75点以上76点未満 75点以上75点未満 74点以上75点未満 73点以上74点未満 73点以上74点未満 73点以上74点未満		8.0 7.3 6.6 5.9 5.2 4.5 3.8 3.1 2.4 1.7 1.0 0.3 0.0	8.0	3.0 2.8 2.6 2.4 2.2 2.0 1.8 1.6 1.4 1.2 1.0 0.8	3.0	3.0 2.8 2.6 2.4 2.2 2.0 1.8 1.6 1.6 1.4 1.2 1.0 0.8	3.0	8.0 7.3 6.6 5.9 5.2 4.5 3.8 3.1 2.4 1.7 1.0 0.3	8.0
	北海道開発局長優良工事表彰等 ※1 (過去4年間)	局長表彰あり(同一事業部門限定)  網走開発建設部長表彰あり(同一事業部門限定)		3.0 1.5	3.0 重複なし	3.0 1.5	3.0 重複なし	3.0 1.5	3.0 重複なし	3.0 1.5	3.0 重複なし
	CPDへの取り組み	指定団体の一定数以上の認定有り		1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0
	施工監理能力の確認(書面)	過去の同種工事の実績・経験を踏まえた、当該工事での留意事項等	秀 優 良 可			10.0 6.7 3.3 0.0	10.0	10.0 6.7 3.3 0.0	10.0		
		小計(技術者配点)			19.0		19.5		19.5		19.0
	同種工事の施工実績  (過去15年間)	より同種性の高い工事実績あり 同種性が認められる工事実績あり		4.0 0.0	4.0	4.0 0.0	4.0	5.0 0.0	5.0	5.0 0.0	5.0
企業	工事成績 (過去2年間の開発局発注工事の成績平均点)	83点以上 82点以上83点未満 81点以上82点未満 80点以上81点未満 79点以上80点未満 78点以上79点未満 77点以上78点未満 76点以上77点未満 75点以上76点未満 74点以上75点未満 73点以上74点未満 72点以上73点未満		5.0 4.6 4.2 3.8 3.4 3.0 2.6 2.2 1.8 1.4 1.0 0.6 0.0	5.0	5.0 4.6 4.2 3.8 3.4 3.0 2.6 2.2 1.8 1.4 1.0 0.6 0.0	5.0	6.0 5.5 5.0 4.5 4.0 3.5 3.0 2.5 2.0 1.5 1.0 0.5	6.0	6.0 5.5 5.0 4.5 4.0 3.5 3.0 2.5 2.0 1.5 1.0 0.5	6.0
	表彰等 (過去2年間の局長等優良工事表彰、過去1年間の北海 道開発局i-Con奨励賞、受賞決定日の翌月1日から2年		臣賞あり 秀賞あり	2.0 1.0	2.0	2.0 1.0	2.0	2.0 1.0	2.0	2.0 1.0	2.0
	間の国土交通省インフラDX大賞)	北海道開発局i-Con奨励賞あり		0.5	重複なし※2	0.5	重複なし※2	0.5	重複なし※2	0.5	重複なし※2

卫个	цод	<u> </u>						幾械装置	
						1	施工	能力評価型	
		評価項目	評価基準	П	型		I	型 ①	I 型 ②
						円未満	ルマーま		円以上
				評価			<u>で直工争</u> 配点	,鋼構造物工事(括: ■ 評価 ■ 配点	<u>巡書さ)</u>   評価   配点
			①当該工事の関連分野での技術開発実績(NETIS登録)あり		HD AM		HO W	HIM HUM	D I IIII HOM
		「IS登録技術の活用 ・ ・術活用の義務化対象エ事では使用しない。】	②有用な新技術の当該工事への活用あり 上記①と②が同技術である						
	L-1/1/2	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	なし	<u> </u>					
			オホーツク総合振興局管内本店 道内本店かつオホーツク総合振興局管内支店・営業所	2.0 1.0		2.0 1.0		1.0 0.5	1.0 0.5
			道内本店	0.5	2.0	0.5	2.0	0.3	0.3
	地	本支店・営業所の所在地	道内支店・営業所 隣接総合振興局等(上川・宗谷・十勝・釧路・根室)管内本店かつオホーツク総合振興局管内支	0.0		0.0		0.0	0.0
企 業	域 精		店・営業所						
	通度		隣接総合振興局等(上川・宗谷・十勝・釧路・根室)管内本店						
	反	に呼吸せる。	上記以外 5件以上あり	2.0		2.0		1.0	1.0
		近隣地域での施工実績  (過去10年間のオホーツク総合振興局管内実績)	4件以下又はなし	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	1.0 0.0
			a 災害時における活動実績あり	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0 1.0	1.0 1.0
	地	   災害活動の実態(活動実績)、防災訓練の実績、	b 防災訓練の実績	0.5	大1点まで	0.5	大1占まで	0.5 最大1点まで	0.5
	域	災害活動拠点及び通年保有資機材の実績	© 管内に災害活動拠点とした社屋を除く倉庫等保有 図 管内に通年保有資機材の保有	0.5	ハ・灬 & c だし、b, c, c み重複あり	0.5 to	:大1点まで だし、b, c, d み重複あり	0.5 成八 「点よく ただし、b, c, d のみ重複あり	0.5 最大1点まで ただし、b, c, のみ重複あり
	貢献		なし	0.0	が重接のグ	0.0	W 重複の7	0.0	0.0
	度	  災害活動の実態(協定の締結)	a 国の機関との締結あり b 地方自治体との締結あり	1.0 0.5	1.0	1.0 0.5	1.0	1.0 0.5 1.0	1.0 0.5 1.0
			なし	0.0		0.0		0.0	0.0
			小 計(企業配点)		17.0		17.0	17.0	17.0
	提案	施工計画	適切に記載されている 不適切な記載である、又は未記載						可 不可 失格
	<u>.                                    </u>		十分な監理能力が確認できる	1 \					7.0 ×1.0 技術者同種
	7	技術者の施工監理能力	一定の監理能力が期待できる			\			3.5 ×0.5 実績評価点 に係数を乗
	リン		上記以外 施工計画の説明が適切である	4					0.0 ×0.0 じる 可
4	グ	技術者の施工計画の理解度	施工計画の説明が不適切である						不可 失格
			配 点 合 計		36.0		36.5	36.5	36.0
$\bigcirc$	<b>※ 全寻 :</b> 1	基幹技能者等の活用(選択項目)			55.5		00.0		, 33.0
202			登録基幹技能者を配置	1.0		1.0		1.0	1.0
企	業	登録基幹技能者、建設マスター、技能者を対象工事に配置した場合(元請け又は一次下請け)	建設マスターを配置		1.0 新始 <i>t</i> >1	1.0	1.0 新始か	1.0 1.0 0.5 重複なし	1.0 1.0 0.5 重複なし
		争に配直した場合(元前リメは一次下前リ)	技能士を配置 上記以外	0.0	重複なし	0.5 0.0	重複なし	0.5 里復なし 0.0	U.3 里復なし 0.0
〇新	技術等		価なし。新技術活用の原則義務化対象外の工事かつ施工能力評価型 I 型に適用】						
		NETIS登録技術又はNETIS掲載期間を終了してい	提案された新技術(NETIS登録)の活用が有効かつ具体的である 提案された新技術(NETIS未登録)の活用が有効かつ具体的である						
1E	業	るが有効性が認められる技術	提案された新技術の活用が有効かつ、具体的でない						
Οź	手手	支術者の年齢による加点(選択項目)							
		若手技術者育成型の年齢評価	配置予定技術者の年齢が公示日現在40歳以下	2.0	0.0	2.0	0.0		
坟	術者	(※基準は公告日時点の満年齢)	配置予定技術者の年齢が公示日現在41歳以上45歳以下 配置予定技術者の年齢が公示日現在46歳以上	1.0 0.0	2.0	1.0 0.0	2.0		

### 今和6年度 総合評価変払方式の評価頂日と配占(網書関発建設部)【電気・機械・党繕】

						機械装置 能力評価			
評価項目	評価基準	I	型			<u>- 肥力計皿</u> 型 ①	<u>+</u>	ΙΞ	텔②
計1111111111111111111111111111111111111	計価基準		2.5億				2.5億	 円以上	
		評価	機 配点	械器具 評価	設置工事 配点		勿工事(括□ ■ 配点	弧書き) 評価	配
		6千1四	能从	計1	10	評価	100   100	古十1	
減点項目	** 4						1	4.5	
53ヶ月間の指名停止状況 51ヶ月間の指名停止等状況	指名停止有り(停止期間1ヶ月超) 指名停止有り(停止期間1ヶ月以下)	-1.5	-1.5	-1.5 -1.5	-1.5	-1.5	-1.5	-1.5 -1.5	-1
	1月147年119(7月14日)  文書注意有り	−1.5 −1.0 Ī	-1.5 重複なし	-1.5 -1.0	-1.5 重複なし	−1.5 −1.0	 重複なし	-1.0	重複
	<u> </u>	-0.5	主阪なし	-0.5	主阪なし	-0.5	主液なし	-0.5	± T
6ヶ月の施工状況等	修補請求等を受けた	-0.5	1.0	-0.5	1.0	-0.5	1.0	-0.5	
	修補請求等を受けた工事が低入札	-1.0	-1.0	-1.0	-1.0	-1.0	-1.0	-1.0	-
<b>色工体制評価点</b>									
確保の実効性	施工体制が十分確保、要求要件をより確実に実現可能	15.0						15.0	4
1億円以上対象	施工体制が概ね確保、要求要件を確実に実現可能	5.0	15.0		15.0		15.0	5.0	4
	その他	0.0						0.0	
C体制確保の確実性	施工体制が十分確保、要求要件をより確実に実現可能	15.0	150		15.0		15.0	15.0	4
1億円以上対象	施工体制が概ね確保、要求要件を確実に実現可能 その他	5.0 0.0	15.0		15.0		15.0	5.0 0.0	
術者 監理(主任)技術者の資格	技術士 技術士又は一級建築士 1級土木施工管理技士又は1級建築施工管理技士経験年数5年以上 一級建築士又は1級建築施工管理技士経験年数5年以上 上記以外	1.0 (1.0) — 0.0	1.0	0.5 (0.5) — 0.0	0.5	0.5 (0.5) — 0.0	0.5	1.0 (1.0) — —	
ワークライフバランス等推進企業に対する評価		=							
企 業 さ の ワーク・ライフ・バランス等推進企業等 該 能 ※4	次に掲げるいずれかの認定を受けている ①女性活躍推進法に基づく認定等(プラチナえるぼし・えるぼし認定企業等) ②次世代法に基づく認定(プラチナくるみん・くるみん(令和4年4月1日以降の基準)・くるみん(平成29年4月1日~令和4年3月31日までの基準)・くるみん(平成29年3月31日までの基準)・トライくるみん認定企業 ③若者雇用促進法に基づく認定(ユースエール認定企業)								
賃上げを実施する企業に対する加点措置									
契約を行う予定の年の4月以降に開始する入札者の最初 企業 の事業年度または契約を行う予定の暦年において、賃上	【大企業の場合】対前年度または前年比で給与等受給者一人当たりの軽金受給額を3%以上増加	(技術者		企業の			以下切上げて	て整数にする	5)•••
げの宝施を従業員に表明した企業等の評価	【中小企業の場合】対前年度または前年比で給与総額を1.5%以上増加						①が配点 ①に1点カ	口点した点数	【が配

|賃上げの実施を従業員に表明したが、賃上げ基準に達し|賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 企業 ていない企業への減点

※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点

該当企業は、財務省から通知された日から1年間、賃上げ加算点よりも1点大きな 配点で減点する

(賃上げ基準に達していない企業のみ減点対象)

- ※1 配置予定技術者が特例監理技術者として配置予定であり、本工事が2件目の配置となる場合には、優良工事表彰を受けている場合でも評価しない。
- ※2 国土交通省インフラDX大賞は「河川・道路・港湾(漁港を除く)・営繕」部門のみ対象とする。また、優良工事表彰、国土交通省インフラDX大賞及び北海道 開発局i-Con奨励賞の重複加点は行わず、評価値の高い方で評価を行う。
- ※3 電気及び営繕における地域精通度の( )書きは、工事区分等級A以外の工事の場合に適用する配点とする。
- ※4 一般土木及び建築のうち、A等級の工事発注を対象とする。

## 令和6年度 総合評価落札方式の評価項目と配点(網走開発建設部) 【電気・機械・営繕】

13.4	16年9月6日以降適用					'繕		
					施工能力	力評価型		
	評価項目	   評価基準	I	I 型	Ι型	<b>U</b> 1	I 型	2
			営繕電気・1	:2.5億円未満 管:0.8億円未満	営		.5億円以上 :0.8億円以_	
			評価	配点	評価	配点	評価	配点
		より同種性の高い工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	7.0		3.0		7.0	
	同種工事の施工実績 (過去15年間の同種工事実績の同種性・立場)	より同種性の高い工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	3.5	7.0	1.5	3.0	3.5	7.0
		同種性が認められる工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事	0.0		0.0		0.0	
技術者	工事成績 (過去10年間の開発局発注工事の監理(主任)技術者 あるいは現場代理人としての任意の一工事,同一工事 区分)	83点以上 82点以上83点未満 81点以上82点未満 80点以上81点未満 79点以上80点未満 77点以上79点未満 77点以上77点未満 76点以上77点未満 75点以上76点未満 75点以上76点未満 73点以上75点未満 73点以上75点未満 73点以上73点未満 73点以上73点未満	8 ( 7.3 6.6 5.9 5.0 4.3 3.1 2.2 1.1 0.0	8.0	3.0 2.8 2.6 2.4 2.2 2.0 1.8 1.6 1.4 1.2 1.0 0.8		8.0 7.3 6.6 5.9 5.2 4.5 3.8 3.1 2.4 1.7 1.0 0.3	8.0
	北海道開発局長優良工事表彰等 ※1 (過去4年間)	局長表彰あり(同一事業部門限定) 網走開発建設部長表彰あり(同一事業部門限定)	3.0 1.5		3.0 1.5	3.0 重複なし	3.0 1.5	3.0 重複なし
	CPDへの取り組み	指定団体の一定数以上の認定有り	1.0	1.0	0.5	0.5	1.0	1.0
	施工監理能力の確認(書面)	過去の同種工事の実績・経験を踏まえた、当該工事での留意事項等 優 関			10.0 6.7 3.3 0.0	10.0		/
		小 計(技術者配点)		19.0		19.5	T	19.0
	同種工事の施工実績 (過去15年間)	より同種性の高い工事実績あり 同種性が認められる工事実績あり	4.0 0.0	4.0	5.0 0.0	5.0	5.0 0.0	5.0
企業	工事成績 (過去2年間の開発局発注工事の成績平均点)	83点以上 82点以上83点未満 81点以上82点未満 80点以上81点未満 79点以上80点未満 78点以上79点未満 77点以上77点未満 75点以上75点未満 75点以上76点未満 75点以上75点未満 73点以上75点未満 73点以上75点未満 73点以上75点未満	5 ( 4,6 4,2 3,8 3,4 3,0 2,6 2,6 1,1 1,0 0,0	5.0	6.0 5.5 5.0 4.5 4.0 3.5 3.0 2.5 2.0 1.5 1.0 0.5	6.0	6.0 5.5 5.0 4.5 4.0 3.5 2.5 2.0 1.5 1.0 0.5	6.0
	表彰等 (過去2年間の局長等優良工事表彰、過去1年間の北海	局長表彰または国土交通省インフラDX大賞 大臣賞あり	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	道開発局i-Con奨励賞、受賞決定日の翌月1日から2年間の国土交通省インフラDX大賞)	網走開発建設部長表彰または国土交通省インフラDX大賞優秀賞あり	1.0		1.0	- 1- to 1 min	1.0	<b>-156.1.</b>
	19   10   10   10   10   10   10   10	北海道開発局i-Con奨励賞あり	0.5	重複なし※2	0.5	重複なし※2	0.5	重複なし※2

							は け評価型	
		評価項目	 	П	·····································	1	텔 ①	I 型 ②
		許ш境日	計画基準		2.5億円未満 「:0.8億円未満			
				評価	配点	評価	配点	評価 配点
		TS登録技術の活用 術活用の義務化対象エ事では使用しない。】	①当該工事の関連分野での技術開発実績(NETIS登録)あり ②有用な新技術の当該工事への活用あり 上記①と②が同技術である なし	0.3 0.7 1.0 0.0	1.0	0.3 0.7 1.0 0.0	1.0 重複なし	0.3 0.7 1.0 0.0 重複な
	116		オホーツク総合振興局管内本店 道内本店かつオホーツク総合振興局管内支店・営業所 道内本店 道内支店・営業所		2.0 (管内本店が 条件の時は 配点なし)	1.0(2.0) 0.5(1.0) 0.0		1.0(2.0) 1.0(2
企 業	地域精通度	本支店・営業所の所在地	隣接総合振興局等(上川・宗谷・十勝・釧路・根室)管内本店かつオホーツク総合振興局管内支店・営業所 隣接総合振興局等(上川・宗谷・十勝・釧路・根室)管内本店					
	及	L 近隣地域での施工実績 (過去10年間のオホーツク総合振興局管内実績)	上記以外 5件以上あり	2.0	2.0	1.0(2.0)	1.0 (2.0)	1.0(2.0) 1.0
		、四ム10年间の4 小一ノノ総合振典向官内美額)	4件以下又はなし	0.0		0.0	<b>※</b> 3	0.0 💥 3
	域貢	災害活動の実態(活動実績)、防災訓練の実績、 災害活動拠点及び通年保有資機材の実績	a 災害時における活動実績あり b 防災訓練の実績 c 管内に災害活動拠点とした社屋を除く倉庫等保有 d 管内に通年保有資機材の保有	1.0 0.5 0.5 0.5	最大1点まで ただし、b, c, d のみ重複あり	1.0 0.5 0.5 0.5	1.0 最大1点まで ただし、b, c, d のみ重複あり	1.0 1.0 0.5 最大1点は ただし、b、 0.5 のみ重複 の 0.0
	献度	災害活動の実態(協定の締結)	a 国の機関との締結あり b 地方自治体との締結あり なし	1.0 0.5 0.0	1.0	1.0 0.5 0.0	1.0	1.0 0.5 0.0
			小 計(企業配点)	管内本店 上記以外	16.0 18.0	管内本店 上記以外	17.0(18.0) 18.0(20.0)	) 管内本店 17.0( ) 上記以外 18.0(
支術 等	提案	施工計画	適切に記載されている  不適切な記載である、又は未記載					可 不可 失格
ا ا	P J	技術者の施工監理能力	十分な監理能力が確認できる 一定の監理能力が期待できる 上記以外					7.0 ×1.0 技術者同 3.5 ×0.5 に係数を 0.0 ×0.0 る
ンク		技術者の施工計画の理解度	施工計画の説明が適切である 施工計画の説明が不適切である					可 不可 失格
			配 点 合 計	管内本店 上記以外	35.0 37.0	管内本店 上記以外		) 管内本店 36.0( ) 上記以外 37.0(
)登	经。	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		-				
	坐	登録基幹技能者、建設マスター、技能者を対象工事に配置した場合(元請け又は一次下請け)	登録基幹技能者を配置 建設マスターを配置   技能士を配置   上記以外	1.0 1.0 0.5 0.0	1.0 重複なし	1.0 1.0 0.5 0.0	1.0	1.0 1.0 1.0 0.5 重複な 0.0
)新:	技術等	■	価なし。新技術活用の原則義務化対象外の工事かつ施工能力評価型 I 型に適用】					
企	坐	NETIS登録技術又はNETIS掲載期間を終了しているが有効性が認められる技術	提案された新技術(NETISを録)の活用が有効かつ具体的である 提案された新技術(NETIS未登録)の活用が有効かつ具体的である 提案された新技術の活用が有効かつ、具体的でない			2.0 1.0 0.0	2.0	2.0 1.0 2.0
)岩	手持	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
		若手技術者育成型の年齢評価 (※基準は公告日時点の満年齢)	配置予定技術者の年齢が公示日現在40歳以下 配置予定技術者の年齢が公示日現在41歳以上45歳以下 配置予定技術者の年齢が公示日現在46歳以上					

			営繕		
			施工能力評価型		
評価項目	評価基準	Ⅱ型	I 型 ①	I 型 ②	
		営繕建築:2.5億円未満 営繕電気·管:0.8億円未満	営繕電気・管	2.5億円以上 5:0.8億円以上	
		評価 配点	評価配点	評価 配点	
O減点項目					
○//3/バスローーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	指名停止有り(停止期間1ヶ月超)	-1.5	-1.5	-1.5	
過去1ヶ月間の指名停止等状況	指名停止有り(停止期間1ヶ月以下) 文書注意有り 口頭注意有り	-1.5 -1.5 -1.0 重複なし -0.5	-1.5 -1.5 -1.0 重複なし -0.5	-1.5 -1.5 -1.0 重複な -0.5	
過去6ヶ月の施工状況等	「日頃は高いでは、日間では、日間では、日間では、日間では、日間では、日間では、日間では、日間	-0.5 -0.5 -1.0	-0.5 -1.0 -1.0	-0.5 -0.5 -1.0	
O施工体制評価点					
品質確保の実効性 ※0.1億円以上対象	施工体制が十分確保、要求要件をより確実に実現可能 施工体制が概ね確保、要求要件を確実に実現可能 その他	15.0 5.0 15.0 0.0	15.0 5.0 15.0 0.0	15.0 5.0 0.0	
施工体制確保の確実性 ※0.1億円以上対象	施工体制が十分確保、要求要件をより確実に実現可能 施工体制が概ね確保、要求要件を確実に実現可能 その他	15.0 5.0 15.0	15.0 5.0 15.0	15.0 5.0 15.0 0.0	
<u> </u>	技術士又は1級電気工事施工管理技士 技術士 技術士フは一級建築士 1級土木施工管理技士又は1級建築施工管理技士経験年数5年以上 一級建築士又は1級建築施工管理技士経験年数5年以上 上記以外		— — — 0.5 — 0.0		
Oワークライフバランス等推進企業に対	する評価	-			
企業 の ワーク・ライフ・バランス等推進企業等 能	次に掲げるいずれかの認定を受けている ①女性活躍推進法に基づく認定等(プラチナえるぼし・えるぼし認定企業等) ②次世代法に基づく認定(プラチナくるみん・くるみん(令和4年4月1日以降の基準)・くるみん 成29年4月1日~令和4年3月31日までの基準)・くるみん(平成29年3月31日までの基準) ライくるみん認定企業 ③若者雇用促進法に基づく認定(ユースエール認定企業)		0.5 0.5	0.5 0.5	
) 賃上げを実施する企業に対する加点持	·····································				
契約を行う予定の年の4月以降に開始する7 企業 の事業年度または契約を行う予定の暦年には はの実施を発表しま明した予定の暦年には	【大企業の場合】対前年度または前年比で給与等受給者一人当たりの軽金受給額を3%以上 札者の最初 おいて、賃上	- (技術者の小計+企業の - る)・・・①	)小計)×5%(小数点以下 )*業の小計+①)≥5% (1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

企業の事業	契約を行う予定の年の4月以降に開始する入札者の最初 の事業年度または契約を行う予定の暦年において、賃上	【人正美の場合】 対削年度または削年氏で結与寺支給有一人自たりの軽金支給額を3%以上増	(技術者の小計+企業の小計)×5%(小数点以下切上げて整数にす   る)・・・①	
	げの実施を従業員に表明した企業等の評価	【中小企業の場合】対前年度または前年比で給与総額を1.5%以上増加	①÷(技術者の小計+企業の小計+①)≧5% ①が配点 ①÷(技術者の小計+企業の小計+①)<5% ①に1点加点した点数が配 点	

#### ○賃上げ基準に達していない企業への減点措置

【賃上げの実施を従業員に表明したが、賃上げ基準に達し】賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 企業 ていない企業への減点

※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点

該当企業は、財務省から通知された日から1年間、賃上げ加算点よりも1点 大きな配点で減点する (賃上げ基準に達していない企業のみ減点対象)

- ※1 配置予定技術者が特例監理技術者として配置予定であり、本工事が2件目の配置となる場合には、優良工事表彰を受けている場合でも評価しない。
- ※2 国土交通省インフラDX大賞は「河川・道路・港湾(漁港を除く)・営繕」部門のみ対象とする。また、優良工事表彰、国土交通省インフラDX大賞及び北海道 開発局i-Con奨励賞の重複加点は行わず、評価値の高い方で評価を行う。
- ※3 電気及び営繕における地域精通度の()書きは、工事区分等級A以外の工事の場合に適用する配点とする。
- ※4 一般土木及び建築のうち、A等級の工事発注を対象とする。